

科目名	キャリア教育1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	相原充伸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴9年						
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。						
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
2	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践復習しレポート作成
3	講義	10年後の目標の立て理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4	講義	5年後の目標の立て理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成。
5	講義	3年後の目標の立て理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認しレポート作成。
6	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業し理解確認しレポート作成。
7	講義	キューブを使つてのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
9	講義	パズルワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業をしレポート作成
10	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
11	講義	キューブを使つてのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
12	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
13	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
14	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りとレポート作成
準備学習 時間外学習	プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける		
新社会人の心得、七つの習慣			

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	相原充伸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴9年						
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。						
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	仕事を知り社会の中での自分の役割を理解し説明できる。	仕事を知り社会の中での自分の役割を理解しレポート作成
2	講義	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学び実践できる	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学び理解しレポート作成
3	講義	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力を学び実践できる	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力を学び理解しレポート作成
4	講義	「創造力」：新しい価値を生み出す力学び実践できる	「創造力」：新しい価値を生み出す力学び理解しレポート作成
5	講義	ジョブカードを用い、職業理解を深め説明できる	ジョブカードを用い、職業理解を深め理解しレポート作成
6	講義	【プロフィールの書き方】イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	【プロフィールの書き方】イベントを整理し、自らの経験を理解しレポート作成
7	講義	【プロフィールの書き方】自己理解を深め客観視出来るようになる	【プロフィールの書き方】自己理解を深め客観視し理解しレポート作成
8	講義	【履歴書の書き方】自分の長所・短所が伝えられるようになる	【履歴書の書き方】自分の長所・短所が伝えられるように理解しレポート作成
9	講義	基本的対話スキルについて習得し実践できる	基本的対話スキルについて習得し実践、理解しレポート作成
10	講義	自己表現スキルについて習得し実践できる。	自己表現スキルについて習得し実践、理解しレポート作成
11	講義	社会的スキルについて習得し実践できる。	社会的スキルについて習得し実践、理解しレポート作成
12	講義	サービスマインドについて習得し実践できる。	サービスマインドについて習得し実践、理解しレポート作成
13	講義	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受講	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受講準備
14	講義	他クラス・他セクションとのコミュニケーションを通じて学ぶ	他クラス・他セクションとのコミュニケーションを通じて学ぶ、理解しレポート作成
15	講義	復習試験	これらを踏まえてレポート作成
準備学習 時間外学習		プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける	
【使用教科書・教材・参考書】			
新社会人の心得、七つの習慣			

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 相原充伸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴9年					
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。					
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。					
評価方法及び基準	筆記による採点100%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作り実践する	「学生生活の基盤」を理解しレポートへまとめる。
2	講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することができる	「主体性」を理解しレポートへまとめる
3	講義	モチベーションコントロール計画的に主体的行動がとれるようになり実践できる	モチベーションコントロールを理解しレポートへまとめる
4	講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性をしり実践できる	「傾聴力」を理解しレポートへまとめる
5	講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学び実践できる	「発信力」を理解しレポートへまとめる
6	講義	「傾聴力」「発信力」を実践させ行動出来る力を習得し実践できる。	「傾聴力」「発信力」を理解しレポートへまとめる
7	講義	言葉遣いやマナーを学び理解し実践できる。	言葉遣いやマナーを理解しレポートへまとめる
8	講義	自分自身の課題を発見し、解決していく力を養い実践できる。	自分自身の課題を発見し、解決していく力を理解しレポートへまとめる
9	講義	企業の方をお招きし、職種や働き方を学び実践できる。	企業の方をお招きし、職種や働き方を理解しレポートへまとめる
10	講義	「計画力」：計画的に行動する力を学び実践できる	「計画力」を理解しレポートへまとめる
11	講義	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学び実践できる	「実行力」を理解しレポートへまとめる
12	講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学び実践できる	「課題発見力」を理解しレポートへまとめる
13	講義	態度・マナーについて説明し、理解し実現できる	態度・マナーについて理解しレポートへまとめる
14	講義	クラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学び実践できる	クラス・後輩とのコミュニケーションを理解しレポートへまとめる
15	講義	復習試験	振り返りとレポート作成
準備学習 時間外学習		プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける	
【使用教科書・教材・参考書】			
新社会人の心得、七つの習慣			

科目名	キャリア教育4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	相原充伸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴8年						
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。						
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
2	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践復習しレポート作成
3	講義	10年後の目標の立て理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4	講義	5年後の目標の立て理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成。
5	講義	3年後の目標の立て理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認しレポート作成。
6	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業し理解確認しレポート作成。
7	講義	キューブを使つてのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
9	講義	パズルワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業をしレポート作成
10	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
11	講義	キューブを使つてのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
12	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
13	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
14	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りとレポート作成
準備学習 時間外学習		プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける	
新社会人の心得、七つの習慣			

科目名	キャリア教育1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	滝波栄一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校渋谷教職員歴18年						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法及び基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6	講義	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7	講義	イベントスタッフとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8	講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9	講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10	講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
14	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	現場での態度・マナーについて説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック			

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	滝波栄一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部ー	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校渋谷教職員歴18年						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 1年次後期では滋慶学園グループが必修で行っている「コミュニケーションスキルアップ検定」の問題内容を基に人間教育を行う。 また、キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格。						
評価方法と基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6	講義	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7	講義	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るよう	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8	講義	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(基本的対話スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
10	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(自己表現スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(社会的スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(サービスマインドについて)	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14	講義	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック			

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	滝波栄一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校渋谷教職員歴18年						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法及び基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6	講義	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7	講義	イベントスタッフとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8	講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9	講義	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10	講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
14	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	現場での態度・マナーについて説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック			

科目名	キャリア教育4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	滝波栄一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校渋谷教職員歴18年						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6	講義	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるように	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7	講義	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8	講義	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9	講義	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
10	講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	SMBCファイナンスの方をお招きし、マネー講座を開催、社会人になった時に掛かるお金について学	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	社会に出る際のビジネスマナー・身なり・挨拶の大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	社会に出る際のビジネスマナー・メールのやり取り・座席位置	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14	講義	卒業制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	卒業制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック			

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷



科目名	PCスキルアップ1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 屋間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習 内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。  現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1)Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。 (2)PowerPointの基本的な使い方を身につけてプレゼンテーションスキルを上げる。 (3)Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1. レポート提出(%) : 50% 2. 筆記課題(%) : 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	WindowsとMacの違いを理解する。ショートカットキーが使えるようになる。	キーボード配列を覚える。ショートカットを覚える。
2	講義	【Excel】罫線について、表の作り方を理解する。	セルの仕組みを覚え、エクセルの基本操作を覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
3	講義	【Excel】表の作り方/タイムテーブルの横軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
4	講義	【Excel】表の作り方/タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
5	講義	【Excel】表と計算式/動員集計表を理解する。	計算式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
6	講義	【Excel】表と計算式/動員集計表が作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
7	講義	【Excel】表と計算式/売り上げ管理表から数字を理解出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
8	講義	【Excel】表と計算式/売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
9	講義	【Excel】表と計算式/テストの平均点を理解し、作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
10	講義	【Excel】表と計算式/予算表を作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
11	講義	【Excel】表と計算式/請求書を作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
12	講義	【Excel】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	図形描画の種類と使いかたを覚えることを目標に提示した課題の図形を作成する。
13	講義	【Excel】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
14	講義	【Excel】チケット管理表を作成することが出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
15	講義	【Excel】動員集計表を作成することが出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
インターネット&ホームページ			

科目名	PCスキルアップ2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習 内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。  現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1)Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。 (2)PowerPointの基本的な使い方を身につけプレゼンテーションスキルを上げる。 (3)Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1. レポート提出(%) : 50% 2. 筆記課題(%) : 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	【PowerPoint】PPの基本仕様、Word、Excelとの互換性を理解する	スライド3枚で自分のお気に入り紹介資料を作成する。
2	演習	【PowerPoint】スライドマスタを理解し、用途に合ったスタイルを使用することが出来る	スライドマスタを理解して、マスタを5種類作る。
3	演習	【PowerPoint】挿入出来る種類の図と挿入方法を理解して、プロフィールシートを作成する	授業内で作ったプロフィールシート以外で1種類作る。
4	演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成:スライドを理解し、設定出来るようになる	これまで作成した資料をスライド設定させる。
5	演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成:アニメーションを理解し、効果的に設定できるようになる	これまで作成した資料にアニメーションを加える。
6	演習	【Excel】作業工程表の作成が出来るようになる	授業内課題に取りかかるにあたり作業行程表を作成する。
7	演習	【Word】段組、文字の回り込みを理解し、プレゼンテーション原稿を作成する	Wordの基本的な仕組みを復習することを目的に新聞を作成する。
8	実習	これまで学んだ総まとめとしてプレゼンテーション資料(原稿・アニメーション付)を作成する	次回プレゼンテーション発表が出来るように練習しておく。
9	実習	PC設定も自身で行い、プレゼンテーションを発表する	他人の発表を見てどのパワーポイントが効果的に伝わったかを観察し800字以内で提出。
10	演習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介を行うための資料を作成する。	次回の発表に向けて準備を行う。
11	実習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介の発表を行う。	他人の発表を見てどの資料が効果的に伝わったかを観察し800字以内で提出。
12	演習	【PowerPoint】進級制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
13	演習	【PowerPoint】卒業制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
14	実習	【PowerPoint】進級制作展で使用使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する
15	実習	【PowerPoint】卒業制作展で使用使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
インターネット&ホームページ			

科目名	舞台知識1(A)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習 内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的な事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で 評価 70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台用語を習得する。	習った舞台用語を復習し、覚える。
2	講義	劇場/舞台という空間についての知識を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
3	講義	劇場やホールの種類と形状を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
4	講義	搬入・搬出方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	吊りものの種類を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
6	講義	吊り方の理論を習得する。	舞台平面図にパトン位置を記入する
7	講義	照明卓の操作方法を習得する。	舞台断面図に照明パトンを記入する
8	講義	幕の吊りものの種類を取得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
9	講義	幕の吊り方・照明のシュートの作業方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	緞帳の操作方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
11	講義	舞台道具（箱馬・平台）の説明や使い方を習得する。	平台、箱馬などを図面化する
12	講義	舞台道具（トラス・パトン）の説明や使い方を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
13	講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14	講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック			

科目名	舞台知識1(B)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習 内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的な事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で 評価 70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台用語を習得する	習った舞台用語を復習し、覚える。
2	講義	劇場/舞台という空間についての知識を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
3	講義	劇場やホールの種類と形状を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
4	講義	搬入・搬出方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	吊りものの種類を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
6	講義	吊り方を習得する	舞台平面図にボタン位置を記入する
7	講義	照明卓の操作方法を習得する	舞台断面図に照明ボタンを記入する
8	講義	幕の吊りものの種類を取得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
9	講義	幕の吊り方・照明のシュートの作業方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	緞帳の操作方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
11	講義	舞台道具(箱馬・平台)の説明や使い方を習得する	平台、箱馬などを図面化する
12	講義	舞台道具(トラス・ボタン)の説明や使い方を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
13	講義	「明日への扉」運営・制作スタッフとして参加し、舞台を創	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14	講義	「明日への扉」運営・制作スタッフとして参加し、舞台を創	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】 「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック			

科目名	舞台知識2(A)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	イベーターとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習 内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価 70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
2	講義	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する
3	講義	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする
4	講義	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する
6	講義	舞台の流れ(段取り・音響の流れに関して)を習得する	PAエン지니어コースから「明日への扉」時の流れを聞き れポートにて提出
7	講義	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
8	講義	舞台の流れ(段取り・照明の流れに関して)	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞き れポートにて提出
9	講義	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	舞台の流れ(段取り・舞台監督の流れに関して)	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを 聞きれポートにて提出
11	講義	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
12	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
13	講義	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れを習得する	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。
14	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ②	本日の授業を基に出された課題を提出する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】 「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック			

科目名	舞台知識2(B)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴	イベントーとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習 内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的な事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価 70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
2	講義	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する
3	講義	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする
4	講義	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する
6	講義	舞台の流れ(段取り・音響の流れに関して)を習得する	PAエンジニアコースから「明日への扉」時の流れを聞き れポートにて提出
7	講義	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
8	講義	舞台の流れ(段取り・照明の流れに関して)	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞き れポートにて提出
9	講義	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	舞台の流れ(段取り・舞台監督の流れに関して)	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを 聞きれポートにて提出
11	講義	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
12	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
13	講義	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れ	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。
14	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ②	本日の授業を基に出された課題を提出する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック			

科目名	ミュージックセオリー(A)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 亜佑美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽理論の基礎を学ぶ						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練する。そして現場で即戦力とされる人材を育成する。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る 楽器ごとの音域を知る
2	講義	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3	講義	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる 連符について知る
4	講義	拍子、複合拍子	小節線 単純拍子、複合・混合拍子 タイ、シンコペーションを理解する
5	講義	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	講義	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	講義	中間テスト	
8	講義	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを理解する（#系メジャースケール）
9	講義	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする（b系メジャースケール）
10	講義	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる 臨時記号の効力 正しい楽譜の書き方を知る
11	講義	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12	講義	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	講義	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部			

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	イヤートレーニング(A)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 亜佑美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法及び基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	講義	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	講義	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	講義	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#♭あり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	講義	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	講義	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1~5度8度、#♭あり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち、書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち、書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major,minorのコード判定、音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	講義	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、総復習	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習		前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】

「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売)



科目名	ミュージックセオリー(B)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 亜佑美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽理論の基礎を学ぶ						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練する。そして現場で即戦力とされる人材を育成する。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る 楽器ごとの音域を知る
2	講義	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3	講義	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる 連符について知る
4	講義	拍子、複合拍子	小節線 単純拍子、複合・混合拍子 タイ、シンコペーションを理解する
5	講義	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	講義	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	講義	中間テスト	
8	講義	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを理解する（#系メジャースケール）
9	講義	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする（b系メジャースケール）
10	講義	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる 臨時記号の効力 正しい楽譜の書き方を知る
11	講義	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12	講義	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	講義	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】「ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	イヤートレーニング(B)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 亜佑美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	音の歴史、モルース信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	講義	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	講義	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	講義	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#♭あり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	講義	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	講義	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1~5度8度、#♭あり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major.minorのコード判定、音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	講義	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、総復習	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習		前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】  
「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売)

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	PCスキルアップ3	必修 選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務。実務歴26年。					
授業の学習 内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、特にテクニカルなセクションにおけるエンターテインメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように進めています。Excel・Illustrator・Photoshopの基本的な使い方を身につけ、即戦力を目指します。					
到達目標	一年次に習得した「PCスキルアップⅠ・Ⅲ」「DTP」の復習とともに新たに以下の3点を身につける。 (1) Adobe Premiere proの基本的な使い方を習得する。 (2) Adobe Photoshopの応用方法を習得する。 (3) Adobe Illustratorの応用方法を習得する。					
評価方法と基準	1. 実技試験(%) : 50% 2. 課題(%) : 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	WindowsとMacの違いを理解し、ショートカットキーを習得する。	キーボード配列を覚える。ショートカットを覚える。
2	講義	ITリテラシーを理解し、ビジネスにおけるWebメールの送り方を習得する。	ITリテラシー理解度テストを行う。
3	講義	【Excel】表の作り方/タイムテーブルの横軸の作成を課題に用紙の設定を習得する。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
4	講義	【Excel】表の作り方/タイムテーブルの横軸の作成を課題にフォントとサイズの設定を習得する。	身近な印刷物で文字の大きさなどを理解することが出来るよう提示された課題をやる
5	講義	【Excel】表の作り方/タイムテーブルの横軸の作成を課題に印刷の設定を習得する。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
6	講義	【Excel】表の作り方/タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
7	講義	【Excel】図形描画/イベントシートが作成出来るようになる。	図形描画の種類と使いかたを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
8	講義	【Excel】図形描画/ステージの簡易的な図面が作成出来るようになる。	図形描画の種類と使いかたを覚えることを目標に提示した課題の図形を作成する。
9	講義	【Excel】図形描画/ステージの簡易的な図面が作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した図面を作成する。
10	講義	【Excel】表と計算式/動員集計表を理解する。	計算式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
11	講義	【Illustrator】基本知識と機能を理解し、等級表を作成する	基礎の仕組みを覚え、慣れておくことを目標に提示した課題の表を作成する。
12	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、表示・オブジェクト・テキスト入力を理解する	名刺に関するビジネスマナー(渡し方やおじぎ、挨拶等)を調べて資料として提出。
13	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、レイヤー・レイアウトを理解する	次回の授業に備え名刺作成時に使用するレイヤー・レイアウトを考査し決めておく。
14	講義	【Excel】「明日への扉」タイムテーブル・進行表を作成出来るようになる。	講義内容を元に資料の作成
15	講義	【Excel】復習テスト「明日への扉」ステージ図・セット図を作成する。	講義内容を元に資料の作成
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
必要に応じてプリント配布。ITリテラシー、COMポータル			

科目名	音楽史(洋楽)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西田 剛
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 屋間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	2002年TSM渋谷創立時より17年、音楽史授業担当。ギタリスト、作曲家、ナレーターとしての実務歴37年。						
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、ポップ・ロックミュージックの起りから現代まで、その発達の歴史を深く学びます。その歴史や文化に触れ、グローバルな視点でアメリカ・イギリス中心とした英語圏におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。						
到達目標	時代の流れに沿った、ロック・ポップスの発達を深く知ること、自分たちの作り出す音楽と、ロック・ポップスの歴史・進化を結び付け評価することができる。						
評価方法と基準	期末テスト 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	ロックミュージックのルーツを学ぶ。	ポピュラー音楽を学ぶ事アメリカの黒人音楽を知る～授業目的の確認 どのように学ぶのか? 授業の進め方 (IT資料、音源、DVD、実演) の確認 オールディーズ資料としてアメリカグラフィティ考察
2	講義	20世紀初期のポピュラーミュージックの歴史を学ぶ	最も売れたアーティストランキン、ビートルズ、プレスリー、マイケル、マドンナ、ツェッペリンの共通点 アメリカの黒人音楽を世界に広めたパフォーマー。ブルースの特徴(コード進行、12小節)をクロスロード(ロバートジョンソン、エリッククラプトン)考察しパターンと音階を理解する。
3	講義	ロックンロールの誕生とは、	プレスリー、チャックベリー、リトルリチャードの考察中心に時代背景を交えて、アメリカ黒人音楽であるR&Rを学ぶ。また、自分のアタマで考えることを教える 例えばメンフィスは黒人が多く住んでたと思うか?など。
4	講義	フォークミュージックの再燃と公民権運動を学ぶ	ボブディランを中心にフォークソングを考察 代表曲: 風に吹かれて の歌詞の内容を時代背景とともに理解する。また、時代は異なるが、イマジン: ジョンレノン の歌詞の本質を学ぶ。
5	講義	イギリス・ポップミュージックの台頭	ビートルズ～ イギリスアーティストのアメリカ市場への侵攻 ベビーブーム世代 当時の若者の考え方を知る。
6	講義	フラワームーヴメントとは、	フラワームーヴメント、 ヒッピー、LOVE&PEACE、公民権運動、ベトナム戦争を、音楽に込められた若者のメッセージとともに説明できるようにする。
7	小テスト 講義	前半講義のポイント整理	R&Rの誕生からウッドストックまでの流れを、しっかりと理解する。
8	講義	パンクロック。ニューウェイブとは、	ロフトパンク(セックスピストルズ、マルコム・マクラーレン、ワイワイアグ・ウエストウッド)～ ニューウェイブの流れ と70年代のポピュラー音楽の大きな流れ(ハードロック、ファンク、レゲエ、AOR などのジャンルの確立)を対比させることができる。
9	講義	MTVの時代を学ぶ	80年代(MTV、80年代ビルボードTOP10、マイケルジャクソン「スリラー」)考察 MTVのスタートによりプロモーションのあり方自体に大きな変革をもたらしたこと シンセサイザーの発達 女性アーティストの躍進にも注目する。
10	講義	ヒップホップの誕生を学ぶ	ブレイクスターズ(ブレイクスターズ、アトフィオーサーなど)の傾向を踏まえて、ヒップホップとの関連 ヒップホップの始まり(ラップ、ブレイクダンス、グラフィティ)を検証 その他、オールジャンルから超一流のアーティストが集結した「We Are The World」を考察
11	講義	21世紀の始まりを学ぶ	今世紀に入ってからポピュラー音楽の傾向を理解する 新たなメディア(Youtube)との向き合い方を各自で考える。
12	テスト 講義	復習テスト	答えられなかった箇所を明確にする。
13	講義	進級制作展の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
14	講義	We are TSM渋谷の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
15	講義	講義内容の振り返り	時代の流れに沿った、ロック・ポップスの発達を深く知ること、自分たちが未来に向けて発信してゆく音楽を深いレベルで考えることができる。
準備学習 時間外学習		授業内容について復習し、レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	DTP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習 内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテインメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1) Adobe Illustratorの基本的な使い方 (2) DTPの基本的な解釈と留意点 (3) デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法と基準	1. データーレポート提出 (%) : 50% 2. 授業内課題 (%) : 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	【Illustrator】基本知識と機能を理解し、等級表を作成する	基礎の仕組みを覚え、慣れておくことを目標に提示した課題の表を作成する。
2	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、表示・オブジェクト・テキスト入力を理解する	名刺に関するビジネスマナー（渡し方やおじぎ・挨拶等）を調べて資料として提出。
3	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、レイヤー・レイアウトを理解する	今回の授業に備え名刺作成時に使用するレイヤー・レイアウトを考査し決めておく。
4	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、数値を入力しての正確な移動を理解する	使い方の復習を目標に提示した課題を作成する。
5	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、印刷設定を理解する	授業内で作ったもの以外に数種類作成し提出する。
6	講義	【Illustrator】オブジェクトを使ったイラスト作成を課題に、ベジェ曲線を理解する	授業で取り組んだ同様の課題を提示し、30分以内で作成出来るようになる。
7	講義	【Illustrator】図面作成を課題にパスツールを理解する	パスの仕組みを復習し、理解することを目標に提示した課題の表を作成する。
8	講義	【Illustrator】図面を作成する	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した図面を作成する。
9	講義	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、文字のアウトライン化・クリッピングマスクを理解する	フォント毎にアウトライン化された場合のオブジェクトを確認して修正する。
10	講義	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、画像の配置・ライブトレースを理解する	スキャンしたデータを読み込み、手書きの文字をライブトレースして提出。
11	講義	【Illustrator】これまで学習したスキルを使って地図を作成する	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
12	講義	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にパス内文字ツールを理解する	授業内容を基に様々な文字の入力方法で入力し、データを提出する。
13	講義	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にエフェクト効果を理解する	エフェクト効果を使った作品を作成し提出する。
14	講義	【Illustrator】「明日への扉」校内宣伝に使用するフライヤーを作成する	作成したもので実際に校内宣伝を行う。
15	講義	【Illustrator】「明日への扉」ロビー内に展示するポスターを作成する	作成したものを掲示し来場者の反応からどんな作品が効果的か考察する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
Photoshop ver.CS6・Illustrator ver.CS6			

科目名	DTP2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習 内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテインメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1) Adobe Illustratorの基本的な使い方 (2) DTPの基本的な解釈と留意点 (3) デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法及び基準	1. データーレポート提出 (%) : 50% 2. 授業内課題 (%) : 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	【Photoshop】基本知識・レイヤー・デバイスからの取り込みを覚える	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。
2	講義	作品制作に合う写真素材を定めた画素数や形式を基に撮影する	作品制作課題に向けてフォトロケーションを調べて提出する。
3	講義	【Photoshop】画像解像度を理解する	画像解像度を理解し、1つの写真から72dpiのデータと350dpiのデータを作成し提出。
4	講義	【Photoshop】保存形式を理解する	保存形式によっての特徴を理解するためjpg/gif/pngで保存した画像をそれぞれ提出する。
5	講義	【Photoshop】色調補正・カラーモード・レタッチを理解する	自分で撮影した写真を使って授業内で覚えたトリミングを駆使し作品を提出する。
6	講義	【Photoshop】レタッチを理解する	本日の授業を理解した上で「音が降っている画像」と「湯気が出ている画像」を作成し提出する。
7	講義	【Photoshop】切り抜きと合成を理解する	切り抜きのクオリティーを高めるために提示された課題を提出する。
8	講義	【Photoshop】作品(フライヤー)制作に取り組む	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を提出する。
9	講義	【Photoshop】作品(フライヤー)制作に取り組む	制作を進めて提出する。
10	講義	<課題試験>これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。
11	講義	<課題試験>これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	制作を進めて提出する。
12	講義	進級制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。
13	講義	卒業制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。
14	講義	進級制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する。
15	講義	卒業制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】			
Photoshop ver.CS6・Illustrator ver.CS6			

科目名	著作権1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	峰松 毅
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ビクターではカラオケのレコーディングディレクターを、バンダイではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。 現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習 内容	音楽業界で活躍していく為には、著作権の知識が必要となる。本講義では音楽における権利の基礎とその現状を学び、実際の活動に役立てるようになる。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要な著作権の基礎知識を習得し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	著作権の概要について学び理解し説明ができる	著作権の概要について学び理解しレポート作成
2	講義	アーティスト契約についての理解し説明ができる。	アーティスト契約についての理解しレポート作成
3	講義	契約書の基本的な読み方を理解し説明ができる	契約書の基本的な読み方を理解しレポート作成
4	講義	著作権法について理解し説明ができる。	著作権法について理解しレポート作成
5	講義	SNSにおける著作権を知り説明ができる。	SNSにおける著作権を知り理解しレポート作成
6	講義	著作物の条件を理解し説明ができる	著作物の条件を理解しレポート作成
7	講義	音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解し説明ができる	音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解しレポート作成
8	講義	アーティストに支払われる印税について理解し説明ができる	アーティストに支払われる印税について理解しレポート作成
9	講義	JASRACを知り説明ができる	JASRACを知り理解しレポート作成
10	講義	音楽出版社の役割を理解し説明ができる	音楽出版社の役割理解しレポート作成
11	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
12	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
13	講義	再販制度の功罪を理解し説明ができる	再販制度の功罪を理解しレポート作成
14	講義	替え歌と著作者人格権の理解をし説明ができる。	替え歌と著作者人格権の理解しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りをおこない、レポートにまとめる
準備学習 時間外学習		業界で活躍するための権利を知る。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】			

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	文章基礎1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	天井 潤之介
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レベル監修						
授業の学習 内容	「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考えや意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいのか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。						
到達目標	「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考えや意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多いと思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てることが出来るようになり、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが出来るようになる。						
評価方法及び基準	文章能力課題レポート提出 50% 課題の提出が前提、原稿の出来栄を評価。 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	年間の授業方針と文章力の必要性について学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	例文の校正・添削を通じて、「修飾語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	起承転結を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
9	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
10	講義	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
11	講義	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
12	講義	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
13	講義	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめることを学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
14	講義	「明日への扉」告知の際に配布する新聞記事の文章を作成(文章構成～た きまで)	授業に続き文章を作成し提出
15	講義	「明日への扉」告知の際に配布する新聞記事の文章を作成(文章作成～校 正・添削し完成まで)	授業に続き文章を作成し提出
準備学習 時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り。	
【使用教科書・教材・参考書】 自作プリント配布			



科目名	文章基礎2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	天井 潤之介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 屋間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修						
授業の学習 内容	前期の授業を踏まえ、より実践的な「書く」という技術の習得。具体的には「WEBコンテンツ制作」の授業と連動する形で、ビジネスメール作成や作品のレビュー、またインタビュー記事の作成などを通じて文章力の向上を目指します。						
到達目標	前期「文章基礎」で学んだ「書く」という技術のルールと基本構造をもとに、ビジネスの場面でも役立つ文章力を身に付けることが目標になります。「WEBコンテンツ制作」の授業とも連動した実践的な文章作成を行いつつ、構成や起承転結を意識した長めの文章も視野に入れた文章力の向上を目指します。						
評価方法と基準	文章能力課題レポート提出 50% 課題の提出が前提、原稿の出来栄を評価。 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	例文や自分で書いた文章の要約・添削を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	新聞記事の資料を要約し添削が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	新聞記事の読解を行い、筆者の意図を読み取れるようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	レコード会社の資料を要約し添削が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	レコード会社の資料読解を行い、筆者の意図を読み取れるようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	映画のあらすじを要約し添削が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	映画のあらすじ読解を行い、筆者の意図を読み取れるようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	これまで学んだ技術をもとに音楽作品のレビュー原稿(紙面媒体)を作成する	授業に続きレビュー原稿を完成させて提出
9	講義	これまで学んだ技術をもとに音楽作品のレビュー原稿(WEB媒体)を作成する	授業に続きレビュー原稿を完成させて提出
10	講義	これまで学んだ技術をもとにインタビュー音源を文字おこしし、原稿(紙面媒体)を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
11	講義	これまで学んだ技術をもとにインタビュー音源を文字おこしし、原稿(WEB媒体)原稿を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
12	講義	進級制作展出演アーティストのインタビュー音源を文字おこしし、原稿(紙面媒体)を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
13	講義	進級制作展出演アーティストのインタビュー音源を文字おこしし、原稿(WEB媒体)を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
14	講義	進級制作展観覧、レビューを書くための素材を集める	実際に会場に足を運びボイスレコーダーとメモで資料をつくる
15	講義	進級制作展レビュー制作	授業に続きレビュー原稿を完成させて提出
準備学習 時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り	
【使用教科書・教材・参考書】			
自作プリント配布			

科目名	カメラ技術基礎 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	映像作品を作るうえで欠かせない機材の基本操作、 セッティング方法、カメラワークを学び、実践に役立てられるよう理解を深める					
到達目標	映像を撮影のテクニックを身に着け、映像作品を制作するうえで様々な表現方法を持たせることができる					
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2	講義・演習	カメラの取り扱いに関して①	カメラの取り扱いに関する復習レポートを作成。
3	講義・演習	カメラの取り扱いに関して②	前回文と合わせたカメラの取り扱いに関する復習レポートを作成。
4	講義・演習	三脚の取り扱いに関して①	三脚の取り扱いに関する復習レポートを作成。
5	講義・演習	三脚の取り扱いに関して②	前回文と合わせた三脚の取り扱いに関する復習レポートを作成。
6	講義・演習	カメラと三脚のセッティングに関して	授業内容についての復習レポートを作成。
7	講義・演習	カメラワークに関して①フィックス・パン	授業内容についての復習レポートを作成。
8	講義・演習	カメラワークに関して② ティルト・ズームイン・アウト	授業内容についての復習レポートを作成。
9	講義・演習	カメラワークに関して③ ドリーイン・アウト・トラック	カメラワークについての総復習レポートを作成。
10	講義・演習	色温度、ホワイトバランスに関して	授業内容についての復習レポートを作成。
11	講義・演習	アイリス、フィルターに関して	授業内容についての復習レポートを作成。
12	講義・演習	ファインダーの各種表示に関して	授業内容についての復習レポートを作成。
13	講義・演習	レンズ交換に関して	授業内容についての復習レポートを作成。
14	講義・演習	撮影実習	実際に行った実習を元にレポートにまとめて提出
15	講義・演習	撮影実習・まとめ	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	カメラ技術基礎 2	必修 選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴					
授業の学習 内容	映像作品を作るうえで欠かせない機材の基本操作、 セッティング方法、カメラワークを学び、実践に役立てられるよう理解を深める				
到達目標	映像を撮影のテクニックを身に着け、映像作品を制作するうえで様々な表現方法を持たせることができる				
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%				

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2	講義・演習	実践的なカメラワークについての復習 ①フィックス・パン	授業内容の復習
3	講義・演習	実践的なカメラワークについての復習 ②フィックス・パン	授業内容の復習
4	講義・演習	実践的なカメラワークについての復習 ③ティルト・ズームイン・アウト	授業内容の復習
5	講義・演習	実践的なカメラワークについての復習 ④ティルト・ズームイン・アウト	授業内容の復習
6	講義・演習	実践的なカメラワークについての復習 ⑤ドリーイン・アウト・トラック	授業内容の復習
7	講義・演習	実践的なカメラワークについての復習 ⑥ドリーイン・アウト・トラック	授業内容の復習
8	講義・演習	実践的なカメラワークについて ①パンフォロー	授業内容の復習
9	講義・演習	実践的なカメラワークについて ②ズームフォーカスフォロー	授業内容の復習
10	講義・演習	実践的なカメラワークについて ②複数フォロー	授業内容の復習
11	講義・演習	実践①	授業内容の復習
12	講義・演習	ライブ撮影に関して①	授業内容の復習
13	講義・演習	トーク番組の撮影に関して②	授業内容の復習
14	講義・演習	ロケ番組の撮影に関して③	授業内容の復習
15	講義・演習	まとめ	全15回の総まとめレポートの作成
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	映像企画制作 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	映像表現に必要な知識・スキルを実際に制作しながら学ぶ					
到達目標	映像作品を制作するうえでの企画書の作成方法、ロケーションハンティング(ロケハン)、構成、撮影方法、許可申請を学び理解を深める					
評価方法と基準	制作物評価:20% 到達度テスト(実技):80% ・到達目標にあるアプリケーションの基本操作のチェック					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、
2	講義	映像作品の企画制作とは	映像作品の企画制作に関するレポート作成
3	講義	映像作品の構成について	映像作品の構成に関するレポート作成
4	講義・演習	カットのつなぎについて	カットに関するレポート作成
5	講義・演習	カメラワーク・イマジナリーラインについて	カメラワーク・イマジナリーラインに関するレポート作成
6	講義・演習	映像制作における企画書について	企画書の作成
7	講義・演習	台本作成について	台本の作成
8	講義・演習	ロケーションハンティング(ロケハン)について	授業復習
9	講義・演習	ロケーションハンティング(ロケハン)について	全2回のロケハンに関するレポート作成
10	講義・演習	撮影許可の申請について	許可申請に関するレポート作成
11	講義・演習	ロケハン時の準備について	ロケハンに行く場所をネットで検索し あらかじめまとめておく
12	講義・演習	ロケハン①	校舎内でのロケハンスポットのまとめ
13	講義・演習	ロケハン②	学校近隣でのロケハンスポットのまとめ
14	講義・演習	ロケハン③	渋谷の街のロケハンスポットをまとめ
15	講義・演習	まとめ	全15回分のまとめをレポート提出
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	映像企画制作 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	映像表現に必要な知識・スキルを実際に制作しながら学ぶ					
到達目標	映像作品を制作するうえでの企画書の作成方法、Adobe Premiere Proの使用法、構成、撮影機材、撮影方法、編集の基本操作知識、理解					
評価方法と基準	制作物評価:20% 到達度テスト(実技):80% ・到達目標にあるアプリケーションの基本操作のチェック					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、
2	講義	映像表現基礎① 映像表現の基本的な方法を学ぶ	レポートにて提出
3	講義	映像表現基礎② 映像表現の基本的な方法を学ぶ	レポートにて提出
4	講義・演習	映像作品の企画書作成について①	テーマに基づき映像作品の企画書の作成
5	講義・演習	映像作品の企画書作成について②	作成した企画書のブラッシュアップ
6	講義・演習	作成した企画の発表	それぞれのメンバーがどのような 映像作品制作するか共有
7	講義・演習	撮影技術について① 映像を撮影する際に必要となる基本的知識を学ぶ	使用機材・撮影方法に関する復習・事前学 習
8	講義・演習	撮影技術について② 映像を撮影する際に必要となる基本的知識を学ぶ	使用機材・撮影方法に関する復習・事前学 習
9	講義・演習	映像撮影①	企画書に基づき自身の映像作品の撮影
10	講義・演習	映像撮影②	企画書に基づき自身の映像作品の撮影
11	講義・演習	映像編集①Adobe premiereの基本的な使用 方法を学ぶ	映像編集に関する予習・復習
12	講義・演習	映像編集②	撮影した映像の編集
13	講義・演習	映像編集③	撮影した映像の編集
14	講義・演習	発表①	全員で全員の作品を見て評価を行う
15	講義・演習	まとめ	前期のまとめを行いレポートにて提出
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	舞台美術概論	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習 内容	舞台美術(セット)はなくてはならない物です。それを理解することはコンサート系コースのどのコースにおいても必ず意味があります。この授業では、紀元前からの舞台史を学び、舞台美術の知識を通してイマジネーションを広げて、スキルを上げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ること、これからの新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台美術全般についての概要を説明する。	授業内容について復習レポートを作成。
2	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ (日本のコンサート)	日本のコンサートについて復習レポートを作成。
3	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ (ミュージカル)	ミュージカルについて復習レポートを作成。
4	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ (ストレートプレイ)	ストレートプレイについて復習レポートを作成。
5	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ (ダンスパフォーマンス)	ダンスパフォーマンスについて復習レポートを作成。
6	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ (世界のコンサート)	世界のコンサートについて復習レポートを作成。
7	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ (ショップデザイン)	ショップデザインについて復習レポートを作成。
8	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ (ウィンドウディスプレイ)	ウィンドウディスプレイについて復習レポートを作成。
9	講義	舞台美術スタッフの仕事学ぶ	舞台美術スタッフの仕事について復習レポートを作成。
10	講義	工具、道具の知識と扱い方を学ぶ	工具、道具の知識と扱い方について復習レポートを作成。
11	講義	美術デザイナーの仕事について学ぶ	美術デザイナーの仕事について復習レポートを作成。
12	講義	舞台演出について学ぶ	舞台演出について復習レポートを作成。
13	講義	演劇公演の美術製作に関わる①	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。
14	講義	演劇公演の美術製作に関わる②	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。
15	試験	復習試験を実施する。	総まとめとしてレポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成する。	
【使用教科書・教材・参考書】			
「舞台美術の基礎知識」(レクラム社刊: 滝善光著)			

科目名	照明概論2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	㈱六工房 代表取締役、日本照明家協会理事、日本照明家協会一級技能士。実務歴27年。						
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける。 ②現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	卒業進級公演に向け、照明制作計画に沿った機材準備・設置・撤去、およびオペレーションに関連する基本的な作業ができる。						
評価方法と基準	筆記試験 ※ペーパーテストにて、仕込み、本番、撤去に必要な専門用語、機材知識の理解度を測定。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台照明の仕事って何？	舞台照明の仕事について復習レポートを作成。
2	講義	安全管理Ⅱ 綱場と高所作業が理解できる	安全管理Ⅱ 綱場と高所作業について復習レポートを作成。
3	講義	電気知識/基礎編が理解できる	電気知識/基礎編について復習レポートを作成。
4	講義	ケーブル知識を身につける②が理解できる	ケーブル知識について復習レポートを作成。
5	講義	舞台機構と舞台照明設備が理解できる	舞台機構と舞台照明設備について復習レポートを作成。
6	講義	DMX信号が理解できる	DMX信号について復習レポートを作成。
7	講義	光と色について理解できる	光と色について復習レポートを作成。
8	講義	仕込み図を作ろう/基本仕込みが書ける	仕込み図を作ろう/基本仕込みについて復習レポートを作成。
9	講義	仕込み図を作ろう/応用作図ができる	仕込み図を作ろう/応用作図について復習レポートを作成。
10	講義	後期まとめ復習テスト	後期まとめについて復習レポートを作成。
11	講義	後期・1年履修項目のまとめ	後期・1年履修項目のまとめについて復習レポートを作成。
12	講義	照明実務4 /We Are TSMに向けて 実習	照明実務4 /We Are TSMに向けて 実習
13	講義	進級制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレーターの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	講義	照明実務5 /We Are TSMに向けて 復習	We are TSM渋谷の資料作成。
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	舞台制作概論1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。					
授業の学習 内容	イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し、演目内容を進行していく能力を身につける。 実際のイベントを題材に打合せや資料作成を行う。					
到達目標	舞台制作スタッフに必要な知識、スキルを身につけることができる。イベント現場で必要となる判断能力を向上させる。					
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2	講義	舞台知識①：舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3	講義	舞台知識②：公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4	講義	舞台知識③：図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5	講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6	講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7	講義	舞台知識④：各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8	講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9	講義	知識応用①：墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10	講義	知識応用②：タッパ決めについて学ぶ。	タッパ決めについて復習レポートを作成。
11	講義	知識応用③：リハーサル進行について学ぶ。	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
14	講義	知識応用④：公演進行の方法について学ぶ。	公演進行について復習レポートを作成。
15	試験	復習試験	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】			
スタッフ赤本			



科目名	舞台制作概論2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	公演内容を把握し、必要な資料作成を行う。Excel・PowerPointを使って資料作成を行う。						
到達目標	公演開催において、計画的に進行するための資料を作成するスキルを身につけることができる。						
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	後期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	前期授業内容を復習しておく。
2	講義	台本を作成する①：マスター作成ができるようになる。	マスター作成について復習レポートを作成。
3	講義	台本を作成する②：進行内容が書けるようになる。	進行内容を書くことについて復習レポートを作成。
4	講義	台本を作成する③：下書きについて理解する。	下書きの理解について復習レポートを作成。
5	講義	オリジナル台本を創ってみる。	オリジナル台本作成の復習レポートを作成。
6	講義	台本を基本に資料を作成する。	台本について復習レポートを作成。
7	講義	台本を印刷製本する。	印刷した台本を読む。
8	講義	We Are TSMの演出内容について考察し、資料を作成する。	We are TSM渋谷の打合せを行う。
9	講義	We Are TSMの舞台監督業務内容を理解する。	We are TSM渋谷の資料を作成する。
10	講義	We Are TSMの舞台監督業務におけるタイムテーブルや図面の作成を行う。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
11	講義	We Are TSMの演出内容についてあらためて考察し、現状の資料をまとめる。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
12	講義	We Are TSMの演出内容について照明、PA、映像セクションとの調整を行う。	進級制作展についての資料をまとめる。
13	講義	進級制作展にスタッフとして参加する。	打合せ、リハーサル立会、資料の作成。
14	講義	卒業進級制作展にスタッフとして参加する。	打合せ、リハーサル立会、資料の作成。
15	試験	復習試験を実施する。	後期まとめの復習レポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】			
スタッフ赤本			

科目名	Global communication1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末 信
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がり恥ずかしくがたりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶が出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 1
2	講義	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 3
3	講義	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 6
4	講義	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 8
5	講義	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 11
6	講義	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	講義	継続して質問することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 14
8	講義	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9	講義	頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10	講義	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 28
11	講義	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12	講義	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 32
13	講義	復習	復習オン ライン プラク ティス
14	定期試験	定期試験	試験を振り替えり、間違ったところを復習しレポートに まとめる。
15	振り返り	1~14の振り返り学習をし、総合的に確認し会話習得できる。 1~14の振り返り学習をし、総合的に確認し会話習得できる。	1~14の苦手な部分と得意な部分を書き出してレポートに まとめる。
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】			
Speak Now 1			

科目名	Global communication2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末 信
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がり恥ずかしくがたりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶が出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 1
2	講義	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 3
3	講義	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 6
4	講義	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることが出来るようになる 誘いに返答することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 8
5	講義	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 11
6	講義	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	講義	継続して質問することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 14
8	講義	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9	講義	頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10	講義	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 28
11	講義	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12	講義	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス Unit 32
13	講義	復習	復習オン ライン プラク ティス
14	定期試験	定期試験	試験を振り替えり、間違ったところを復習しレポートにまとめる。
15	振り返り	1~14の振り返り学習をし、総合的に確認し会話習得できる。	1~14の苦手な部分と得意な部分を書き出してレポートにまとめる。
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】			
Speak Now 1			

科目名	映像編集基礎 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	カメラの種類、特性、撮影技法について学び基本的操作が出来るようになる 映像演出、台本作成が出来るようになる Adobe Premiere Proの基本操作ができるようになる(映像制作・編集) Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる(グラフィック) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる(デザイン、ロゴ) 学内で行われるイベントの撮影企画制作をし、撮影、編集、最終的にYouTube などにアップロードする					
到達目標	Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、 構成、台本作成、撮影機材、撮影方法、編集、オーディオ編集の基本操作知識、理解					
評価方法と基準	制作物評価:20% 到達度テスト(実技):80% ・到達目標にあるアプリケーションの基本操作のチェック					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・演習	カメラの種類、動画フォーマットの種類、特性、撮影技法(アングル、サイズ)動画の構成、演出について学ぶ	学生自身が持っているスマートフォンを使用して、授業で学んだことを踏まえて自己紹介動画を作成し、次回提出(編集やテロップなどは入れず、失敗しても録画を止めてやり直さない)
2	講義・演習	コンピュータに関する理解、Premiere Pro、Photoshop、Illustratorを理解する	授業で学んだ内容を復習する
3	講義・演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 動画編集を行ううえでのプロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得	次週の授業から編集が始められるように復習する
4	講義・演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 以前制作した自己紹介動画の取り込み方法、編集を行うための構成、字幕の挿入などの習得	復習しながら自己紹介動画の作成
5	講義・演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 動画編集の際に必要な特殊効果、タイトル、テロップ、字幕の挿入方法を学ぶ	作品を完成させて次週提出
6	講義・演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 オーディオの編集、エフェクトの追加、BGMの追加、字幕の書き出しにおける設定、字幕の挿入などの習得	作品提出、総評
7	講義・演習	【Illustrator】 作成する上でのプロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得、文字の挿入、動画素材を元にロゴ	次週の授業から作成出来るように復習、
8	講義・演習	【Illustrator】 動画素材を元にイラスト、ロゴ、の作成、Premiere Proでの挿入方法を学ぶ	作品を完成させて提出
9	講義・演習	【Photoshop】 作成する上でのプロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得、素材を元にロゴ、イラストの習得	次週の授業から作成出来るように復習、
10	講義・演習	【Photoshop】 動画素材を元に文字お越し等のテロップ作成方法の習得	作品を完成させて提出
11	講義・演習	民生用カメラと業務用カメラの違い、標準的な撮影時のセッティング、照明、ホワイトバランスなどの撮影テクニック講座、構成、演出、ロゴの挿入、字幕の挿入	授業で学んだ内容を復習する
12	講義・演習	到達度テスト テスト解説	迷った部分を復習する
13	講義・演習	明日への扉メイキング映像の企画、セクション決め	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
14	講義・演習	明日への扉メイキング映像の制作、撮影	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
15	講義・演習	明日への扉メイキング映像の制作、撮影	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	映像編集基礎 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良 介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	カメラの種類、特性、撮影技法について学び基本的操作が出来るようになる 映像演出、台本作成が出来るようになる Adobe Premiere Proの基本操作ができるようになる(映像制作・編集) Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる(グラフィック) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる(デザイン、ロゴ) 学内で行われるイベントの撮影企画制作をし、撮影、編集、最終的にYouTube などにアップロードする					
到達目標	Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、 構成、台本作成、撮影機材、撮影方法、編集、オーディオ編集の基本操作知識、理解					
評価方法と基準	演習の成果(準備含め) 50% 課題の作成 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・演習	明日への扉メイキング映像の編集、ナレーション入れ、パッケージデザイン	イベントで撮影したものをチームで制作
2	講義・演習	明日への扉メイキング映像の編集、ナレーション入れ、パッケージデザイン	イベントで撮影したものをチームで制作、各チームつなぎ合わせ次週完成させる
3	講義・演習	明日への扉メイキング映像の編集、完成、YouTube などにアップロードする	完成 試写、総評、制作した作品に対してのディスカッション
4	講義・演習	撮影テクニック総復習 (前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて撮影技術向上、構成、演出論を学ぶ)	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
5	講義・演習	撮影テクニック総復習 (前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて撮影技術向上、構成、演出論を学ぶ)	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
6	講義・演習	編集テクニック総復習 (前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて編集技術向上、構成、演出論を学ぶ)	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
7	講義・演習	編集テクニック総復習 (前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて編集技術向上、構成、演出論を学ぶ)	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
8	講義・演習	We are TSM ! イベント告知CM制作企画	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
9	講義・演習	We are TSM ! イベント告知CM制作、撮影、編集	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー、編集
10	講義・演習	We are TSM ! イベント告知CM制作、撮影、編集、完成	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー、編集、完成
11	講義・演習	We are TSM ! イベント告知CM制作、撮影、編集、完成 (昨年度の素材も使用しYouTube などにアップロードする)	完成 試写、総評
12	講義・演習	We are TSM ! メイキング映像の企画、セクション決め	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
13	講義・演習	We are TSM ! メイキング映像制作、撮影、編集	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
14	講義・演習	We are TSM ! メイキング映像制作、編集	イベントで撮影したものをチームで制作、各チームつなぎ合わせ次週完成させる
15	講義・演習	We are TSM ! メイキング映像制作、編集、ナレーション入れ、パッケージデザイン	完成 試写、総評、制作した作品に対してのディスカッション
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	放送技術基礎 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	放送の仕組みからハイビジョン信号、制作技術を学び、理解を深める					
到達目標	放送の仕組みを知り、即戦力として現場で働ける人材の育成を目標とする					
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	シラバス確認、自己紹介
2	講義	デジタル放送とは	授業復習
3	講義	テレビ信号の流れ①	授業復習
4	講義・演習	テレビ信号の流れ②	講義内容に関してレポート作成
5	講義・演習	デジタルとアナログについて①	授業復習
6	講義	デジタルとアナログについて②	講義内容に関してレポート作成
7	講義・演習	デジタル放送の特徴①	授業復習
8	講義・演習	デジタル放送の特徴②	講義内容に関してレポート作成
9	講義・演習	デジタル放送のメリット①	授業復習
10	講義・演習	デジタル放送のメリット②	講義内容に関してレポート作成
11	講義・演習	地デジ・ワンセグ	講義内容に関してレポート作成
12	講義	ネットワークによるデジタル放送	講義内容に関してレポート作成
13	講義・演習	デジタルテレビ技術	講義内容に関してレポート作成
14	講義・演習	デジタルコンテンツ市場の動向	講義内容に関してレポート作成
15	講義	まとめ	全15回のまとめレポート作成
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	放送技術基礎 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	笠原 良 介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴							
授業の学習 内容	放送の仕組みからハイビジョン信号、制作技術を学び、理解を深める						
到達目標	放送の仕組みを知り、即戦力として現場で働ける人材の育成を目標とする						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	放送技術基礎前期復習	
2	講義・演習	編集について①	授業復習
3	講義・演習	編集について②	編集についての全2回のレポート作成
4	講義・演習	VE (ビデオエンジニア) について	講義内容に関してレポート作成
5	講義・演習	撮影基礎①	授業復習
6	講義・演習	撮影基礎②	撮影基礎についての全2回のレポート作成
7	講義・演習	照明基礎①	授業復習
8	講義・演習	照明基礎②	照明基礎についての全15回のレポート作成
9	講義・演習	撮影・照明実践①	実践を通しての復習
10	講義・演習	音声基礎①	授業復習
11	講義・演習	音声実践②	音声実践についての全2回のレポート作成
12	講義・演習	VE基礎①	授業復習
13	講義・演習	VE基礎②	全15回のまとめレポート作成
14	講義・演習	総復習	全15回のまとめレポート作成
15	講義	まとめ	
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	VFX基礎 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良 介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	VFX作成ソフトAfterEffectsを使用してVFXの他にモーショングラフィック、合成などを学習する。					
到達目標	VFX作成ソフトAfterEffectsの基本的な操作の取得					
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	シラバス確認、自己紹介
2	講義	コンピューターに関する理解AfterEffects を理解する	授業で学んだ内容を復讐する
3	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 プロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得	授業で学んだ内容を復讐する
4	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 編集を行ううえでの注意事項、ショートカットキーの習得	授業で学んだ内容を復讐する
5	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 キーフレームアニメーションの習得	授業で学んだ内容を復讐する
6	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 ペンツールを使用したシェイプとマスクの習得	授業で学んだ内容を復讐する
7	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 レイヤーへのエフェクトについて	授業で学んだ内容を復讐する
8	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 クロマキー撮影と処理方法について	授業で学んだ内容を復讐する
9	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 モーショントラッキングについて	授業で学んだ内容を復讐する
10	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 ロトスコープとロトブラン	授業で学んだ内容を復讐する
11	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 3Dシーン基礎①	授業で学んだ内容を復讐する
12	講義・演習	【AfterEffects】基礎技術習得 3Dシーン基礎②	授業で学んだ内容を復讐する
13	講義・演習	AfterEffects基本テスト①	次週のテストに向けて復讐と確認
14	講義・演習	AfterEffects基本テスト②	次週のテストに向けて復讐と確認
15	講義・演習	まとめ	前期内の授業のまとめ
準備学習 時間外学習		授業内容について復讐レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			



科目名	VFX基礎 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	笠原 良 介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VFX作成ソフトAfterEffectsを使用してVFXの他にモーショングラフィック、合成などを学習する。						
到達目標	VFX作成ソフトAfterEffectsの基本的な操作の取得						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・演習	AfterEffects前期復習	授業で学んだ内容を復讐
2	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 レイヤーの組み立て、ベクターとラスターの違い、	授業で学んだ内容を復讐
3	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 キーフレーム間の停止、カメラワークの作	授業で学んだ内容を復讐
4	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 モーシオンブラー機能の使用、	授業で学んだ内容を復讐
5	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 モーシオンスケッチ、モーシオントラッキン	授業で学んだ内容を復讐
6	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 レイヤーの重ねと合成モードの組み合わせに	授業で学んだ内容を復讐
7	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 エフェクトについて①	授業で学んだ内容を復讐
8	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 エフェクトについて②	授業で学んだ内容を復讐
9	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 エフェクトについて③	授業で学んだ内容を復讐
10	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 エフェクトについて④	授業で学んだ内容を復讐
11	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 後期テスト課題作成	後期テスト課題の取り組み
12	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 後期テスト課題作成	後期テスト課題の取り組み
13	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 後期テスト課題作成	後期テスト課題の取り組み
14	講義・演習	【AfterEffects】応用技術習得 後期テスト課題発表	課題発表
15	講義・演習	まとめ	全15回のレポート作成
準備学習 時間外学習		授業内容について復讐レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	映像ディレクション 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	映像の企画・構成・撮影ディレクション、 編集など映像作品の制作全般の取り仕切り、カメラをまわしたり、映像の編集などでもできるよう理解を深める					
到達目標	コミュニケーション力、企画・制作・撮影・編集力を身に付け、 即戦力となれる人材の育成					
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、
2	講義	映像ディレクターに求められるスキルとは	講義内容に関してレポート作成
3	講義	映像の種類について	講義内容に関してレポート作成
4	講義	映像表現技法について	授業復習
5	講義	①実写 映像表現技法について	映像表現技法についての全2回のレポート作成
6	講義・演習	②アニメーション 映像の構図について	授業復習
7	講義・演習	①ロングショット・ミディアムショット 映像の構図について	映像の構図についての全2回のレポート作成
8	講義・演習	②アップショット・三分割法・イマジナリー 映像の撮り方について	授業復習
9	講義・演習	①ズームイン・ズームアウト・ドリーイン・ドリーアウト 映像の撮り方について	映像の撮り方についての全2回のレポート作成
10	講義	②パンライト・パンレフト・ティルトアップ・ティルトダウン 映像の音について	授業復習
11	講義	①背景音楽/BGM 映像の音について	映像の音についての全2回のレポート作成
12	講義	②効果音/SE・環境音/ES 映像撮影の流れに関して	授業復習
13	講義	①打ち合わせ・シナリオ制作 映像撮影の流れに関して	授業復習
14	講義	②撮影・編集 映像撮影の流れに関して	映像撮影の流れについての全3回のレポート作成
15	講義	③納品 まとめ	全15回の授業まとめレポート作成
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	映像ディレクション 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	映像演出に必要な要素を理解し、活用できるようにする					
到達目標	映画・映像作品を鑑賞した際に、自分なりの観点で作品の演出を分析し、学習する					
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・演習	オリエンテーション	シラバスの確認、
2	講義・演習	シナリオ、演出方法について①	授業復習
3	講義・演習	シナリオ、演出方法について②	シナリオ、演出方法についての 全2回のレポート作成
4	講義・演習	カット割りについて①	授業復習
5	講義・演習	カット割りについて②	カット割りについてについての 全2回のレポート作成
6	講義・演習	出演者の選定、演出方法について①	授業復習
7	講義・演習	出演者の選定、演出方法について②	出演者の選定、演出方法についての 全2回のレポート作成
8	講義・演習	撮影場所について①	授業復習
9	講義・演習	撮影場所について②	撮影場所についての 全2回のレポート作成
10	講義・演習	撮影方法について①	授業復習
11	講義・演習	撮影方法について②	撮影方法についての 全2回のレポート作成
12	講義・演習	撮影に必要なセット、道具などについて	撮影に必要なセット、道具などについての レポート作成
13	講義・演習	音楽、音響について	音楽、音響についてのレポート作成
14	講義・演習	編集作業について	編集作業についてのレポート作成
15	講義・演習	まとめ	全15回分のレポート作成
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	映像マーケティング 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	YouTubeをはじめとする動画プラットフォームでもSNS上でも、日頃から数多くの動画広告を目にするようになり、マーケティングに対して動画を活用する場面が急増しています。 映像マーケティングという授業に取り組むことで基本を理解し、映像マーケティングの成功事例なども見ていきます。					
到達目標	映像によるマーケティングを理解することによって、目標達成のための戦略立案、クリエイティブな映像の企画制作、SNSの運用、効果の検証を行い、映像によるマーケティングのノウハウを身につけます。					
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、
2	講義・演習	映像マーケティングとは	授業内容にそったレポート作成
3	講義・演習	映像マーケティングのメリット	課題作成
4	講義・演習	映像マーケティングで押さえるポイント	授業内容にそったレポート作成
5	講義・演習	商品・サービス紹介での 映像マーケティングポイント	事前学習
6	講義・演習	事例紹介・考察	まとめレポート作成
7	講義・演習	ブランディングにおいての 映像マーケティングについて	事前学習
8	講義・演習	事例紹介・考察	まとめレポート作成
9	講義・演習	プロモーション映像のポイント	事前学習
10	講義・演習	事例紹介・考察	まとめレポート作成
11	講義・演習	会社紹介・施設紹介においての 映像マーケティングポイント	事前学習
12	講義・演習	事例紹介・考察	まとめレポート作成
13	講義・演習	目的別映像マーケティングポイント①	自身がマーケティングしたい分野を事前調べ
14	講義・演習	目的別映像マーケティングポイント②	自身がマーケティングしたい分野を事前調べ
15	講義	まとめ	全15回のレポート作成
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	映像マーケティング 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 笠原 良介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	
教員の略歴						
授業の学習 内容	映像制作や理論、動画にまつわるテクノロジー、活用方法などを学んだうえで動画を公開し、その効果を検証、改善点を見つけ施策を打ち、動画のPDCAの知識を身に着ける					
到達目標	動画広告を扱う際に必須となるマーケティング知識を理解し実践できる					
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・演習	主要配信プラットフォームについて	主要配信プラットフォームを事前に調べておく
2	講義・演習	YouTubeアナリティクスについて①	事前学習
3	講義・演習	YouTubeアナリティクスについて②	事前学習
4	講義・演習	YouTubeアナリティクスについて③	YouTubeアナリティクスについて 全3回のレポート作成
5	講義・演習	映像マーケティングに必要な基礎知識①	事前学習
6	講義・演習	映像マーケティングに必要な基礎知識②	事前学習
7	講義・演習	映像マーケティングに必要な基礎知識③	映像マーケティングに必要な基礎知識について 全3回のレポート作成
8	講義・演習	SNS広告の基礎と実践①	事前学習
9	講義・演習	SNS広告の基礎と実践②	事前学習
10	講義・演習	SNS広告の基礎と実践③	SNS広告の基礎と実践について 全3回のレポート作成
11	講義・演習	動画のアクセス分析	分析したアクセス数に関してレポート作成
12	講義・演習	動画広告の配信	レポート作成
13	講義・演習	事例検証①	事前学習
14	講義・演習	事例検証②	事例全2回のレポート作成
15	講義・演習	まとめ	全15回のまとめレポート作成
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	グッズ企画制作 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	向田 優 希
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	日本・韓国のアーティストのファンクラブ運営制作として活動。実務歴10年						
授業の学習 内容	音楽業界における、グッズ事業の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。						
到達目標	グッズ事業のポイントを学び、音楽業界が求める人材になるための基礎知識を身につける。 実習を通して自ら調べ、考える力を身につける。						
評価方法と基準	課題提出・プレゼンテーションによる評価						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	音楽業界のMD事業について	MDとは？音楽業界におけるMD事業の役割について
2	演習	グッズについて理解を深める	お題に沿ってどんなグッズがあるか調べてみよう
3	グループワーク	トレンドについて理解を深める	グッズ・ファッション・カラー等どんな物が流行っているか調べてみよう
4	演習	ツアーロゴについて理解を深める・企画する (1)	ツアーロゴとは？
5	演習	ツアーロゴについて理解を深める・企画する (2)	お題に沿ってツアーロゴの企画書を作成・プレゼンしよう
6	演習	アイテムラインナップについて理解を深める・企画する (1)	アイテムラインナップとは？お題に沿ってアイテムラインナップの企画書を作成・プレゼンしよう
7	演習	アイテムラインナップについて理解を深める・企画する (2)	お題に沿ってアイテムラインナップの企画書を作成・プレゼンしよう
8	講義・演習	ツアービジュアル・アイテム素材撮影について	ツアービジュアル・アイテム素材撮影について
9	講義・演習	ツアービジュアル・アイテム素材撮影について	お題に沿って撮影の企画書を作成・プレゼンしよう
10	講義・演習	予算・価格設定・アイテム説明について (1)	予算組み・商品価格設定・アイテムの説明について解説
11	講義・演習	予算・価格設定・アイテム説明について (2)	実際に商品価格を決めてみよう
12	演習	特集サイトについて (1)	特集サイトとは？役割は？
13	演習	特集サイトについて (2)	お題に沿って特集サイトの遷移図を作成・提出
14	演習	グッズプロモーションについて (1)	SNS・会場・チラシなどプロモーションについて
15	演習	グッズプロモーションについて (2)	お題に沿ってプロモーション案を作成・プレゼンしよう
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	グッズ企画制作 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	向田 優 希
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	日本・韓国のアーティストのファンクラブ運営制作として活動。実務歴10年						
授業の学習 内容	音楽業界における、グッズ事業の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。						
到達目標	グッズ事業のポイントを学び、音楽業界が求める人材になる為の基礎知識を身につける。 実習を通して自ら調べ、考える力を身につける。						
評価方法と基準	課題提出・プレゼンテーションによる評価						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	グッズ事業について学ぶ	
2	講義	グッズ事業について学ぶ	
3	講義・演習	グッズ・トレンドについて理解を深める	
4	演習	グッズ・トレンドについてリサーチし、レポートを作成する	授業外でもスケジュールに間に合うようにレポート作成を行う
5	演習	グッズ・トレンドについてリサーチし、レポートを作成する	授業外でもスケジュールに間に合うようにレポート作成を行う
6	演習	グッズ・トレンドについてプレゼンする	
7	講義・演習	ツアーロゴについて理解・企画書を作成する	
8	演習	ツアーロゴ企画書を作成をする	授業外でもスケジュールに間に合うようにレポート作成を行う
9	演習	ツアーロゴ企画書を作成をする	授業外でもスケジュールに間に合うようにレポート作成を行う
10	演習	ツアーロゴ企画書のプレゼンテーションを行う	
11	講義・演習	アイテムラインナップについて理解・企画書を作成する	
12	演習	アイテムラインナップ企画書を作成をする	授業外でもスケジュールに間に合うようにレポート作成を行う
13	演習	アイテムラインナップ企画書を作成をする	授業外でもスケジュールに間に合うようにレポート作成を行う
14	演習	アイテムラインナップのプレゼンテーションを行う	
15	講義・演習	前期まとめ・課題提出	
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	K-POP文化 & 歴史 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	向田 優 希
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	日本・韓国のアーティストのファンクラブ運営制作として活動。実務歴10年						
授業の学習 内容	K-POPビジネス及びファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。						
到達目標	ファンクラブのビジネス構造を述べることができる。 Excelを使用したユーザー分析ができ、会員数増減の仮説をたてることができる。						
評価方法と基準	授業中や出されるレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	ガイダンス	アンケート提出
2	講義	K-POP業界の基本構造と特徴(1)	ワークシート提出
3	講義	K-POP業界の基本構造と特徴(2)	ワークシート提出
4	講義・演習	アーティスト研究(1)	プレゼン準備
5	講義・演習	アーティスト研究(2)	プレゼン準備
6	講義・演習	アーティスト研究(3)	ワークシート提出
7	講義	ファンクラブの基本構造(1)	レポート
8	講義	ファンクラブの基本構造(2)	レポート
9	講義	ファンクラブの基本構造(3)	レポート
10	講義・演習	ユーザー分析(1)	ワークシート提出
11	講義・演習	ユーザー分析(2)	ワークシート提出
12	講義・演習	ユーザー新規獲得と継続維持(1)	プレゼン準備
13	講義・演習	ユーザー新規獲得と継続維持(2)	プレゼン準備
14	講義・演習	ユーザー新規獲得と継続維持(3)	ワークシート提出
15	講義	会員規約	レポート
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			



科目名	K-POP文化 & 歴史 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	向田 優 希
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	日本・韓国のアーティストのファンクラブ運営制作として活動。実務歴10年						
授業の学習 内容	K-POPビジネス及びファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。						
到達目標	新規獲得や継続促進の戦略をたてることができる。 コンテンツ提供を通して企画書を作成、ライティングなどのコンテンツ制作ができる。 情報によるトラブルを予想し未然に防ぐことができる、または解決方法を述べるができる。						
評価方法と基準	授業中や出されるレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・演習	ファンクラブ研究 (1)	プレゼン準備
2	講義・演習	ファンクラブ研究 (2)	プレゼン準備
3	講義・演習	ファンクラブ研究 (3)	ワークシート提出
4	講義・演習	ライティング (1)	ワークシート提出
5	演習	ライティング (2)	ワークシート提出
6	演習	ライティング (3)	レポート
7	講義・グループワーク	アーティストプロモーション活動とFCの違いと共栄 (1)	プレゼン準備
8	講義・グループワーク	アーティストプロモーション活動とFCの違いと共栄 (2)	レポート
9	講義	WEBサイトの構造	レポート
10	講義・演習	教材用企画書～実行するまでのアクション (1)	ワークシート提出
11	演習	教材用企画書～実行するまでのアクション (2)	ワークシート提出
12	演習	教材用企画書～実行するまでのアクション (3)	ワークシート提出
13	講義・グループワーク	撮影基本 (1)	ワークシート提出
14	講義・グループワーク	撮影基本 (2)	ワークシート提出
15	講義	活動情報の取り扱い	レポート
準備学習 時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明<基礎編>			

科目名	韓国語講座 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	崔 可暎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ハングルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験(TOPIK)の獲得を目標にします						
評価方法と基準	試験: 100%(筆記、会話、聴解)						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	ハングルの理解	ハングルについて調べてレポートにまとめる
2	講義	ハングルの読み	ハングルの読みについての復習
3	講義	ハングルの読みのテスト	未達成箇所の復習
4	講義	パッチムの理解	パッチムについて調べてレポートにまとめる
5	講義	リスニング練習・テスト	未達成箇所の復習
6	講義	挨拶の会話文	挨拶の会話文を用いた例文の作成及び挨拶の種類について調べる
7	講義	「あります」「ありません」を使った表現	「あります」「ありません」の例文作成及び形容詞について調べる
8	講義	形容詞の応用	形容詞を用いた例文の作成及び敬語について調べる
9	講義	敬語の理解と使用	敬語で例文の作成及び敬語について調べる
10	講義	過去形文の理解	過去形文の作成及び未来形文について調べる
11	講義	未来形文の理解	未来形文の作成及び可能系文について調べる
12	講義	可能系文の理解	可能系文の作成及び次回授業での作文を構想する
13	講義	作文	韓国のビデオコンテンツ(字幕あり)を鑑賞し、感想文(日本語)を作成する
14	講義	期末テスト	未達成箇所の復習
15	講義	前期実施項目の復習	後期実施項目の予習
準備学習 時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】 韓国語初歩の初歩 CD付／韓国語「文法」トレーニング			

科目名	韓国語講座 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	崔 可暎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ハングルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験(TOPIK)の獲得を目標にします						
評価方法と基準	試験:100%(筆記、会話、聴解)						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	空港での表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(日本語)を作成する
2	講義	郵便局での表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(日本語)を作成する
3	講義	旅行先での表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(日本語)を作成する
4	講義	映画館・デートでの表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(日本語)を作成する
5	講義	病院に行った時の表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(日本語)を作成する
6	講義	美容室に行った時の表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(日本語)を作成する
7	講義	手紙の表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕あり)を鑑賞し、感想文(韓国語)を作成する
8	講義	褒め言葉・指摘言葉	韓国のビデオコンテンツ(字幕あり)を鑑賞し、感想文(韓国語)を作成する
9	講義	リスニングのテスト	韓国のビデオコンテンツ(字幕あり)を鑑賞し、感想文(韓国語)を作成する
10	講義	面接の表現	韓国のビデオコンテンツ(字幕あり)を鑑賞し、感想文(韓国語)を作成する
11	講義	フリートーク(自分の国について)	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(韓国語)を作成する
12	講義	フリートーク(趣味について)	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(韓国語)を作成する
13	講義	作文	韓国のビデオコンテンツ(字幕なし)を鑑賞し、感想文(韓国語)を作成する
14	講義	期末テスト	未達成箇所の復習
15	講義	後期実施項目の復習	総復習
準備学習 時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】 韓国語初歩の初歩 CD付/韓国語「文法」トレーニング			

科目名	日本語講座 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池村雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部ー	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	滋慶グループで日本語検定対策N1, N2、ビジネス日本語担当						
授業の学習 内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。また適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現を使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にできる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	日本語講習の重要性と講習内容説明	アンケート
2	講義	レベルチェックテスト、自己紹介	自己の振り返り
3	講義	判断、意志を表す表現が理解できる	レベルチェックテストの復習
4	講義	仮定条件を使って判断、意志を表現することができる	提出文型、表現の復習
5	講義	理由を強調して自身の考えを述べる事が出来る	提出文型、表現の復習
6	講義	意向形を使い自身の考えを述べる事が出来る	提出文型、表現の復習
7	講義	地位や立場を表す表現を使って自身の判断を述べる事が出来る	提出文型、表現の復習
8	講義	「～ない」を使った間接的な言い方が理解できる	提出文型、表現の復習
9	講義	二重否定、反語を理解し正しく使う事が出来る	提出文型、表現の復習
10	講義	目標、目的をかたい表現で言う事が出来る	提出文型、表現の復習
11	講義	結果、事実関係を正確に伝える事が出来る	提出文型、表現の復習
12	講義	時間関係の表現を使い分ける事が出来る	宿題
13	講義	前期実施項目の復習	宿題
14	講義	試験実施	宿題
15	講義	総復習を通して、後期で強化する点を知る	宿題
準備学習 時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】スピードマスターN1文法、語彙力ぐんぐん1日10分、その他必要に応じた資料			

科目名	日本語講座 2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池村雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	滋慶グループで日本語検定対策N1, N2、ビジネス日本語担当						
授業の学習 内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。テーマに沿ってグループディスカッション実施、グループの意見をまとめ発表する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現が適切に使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にでき、スムーズなコミュニケーションがとれる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶、自己紹介を日本語でできる。	挨拶の復習と年間勉強計画表を作成
2	講義	大きさや量を強調する表現が理解できる	大きさや量を強調する表現の文型を作りレポート作成
3	講義	「ごとく」を使った表現を使い分けができる	「ごとく」を使った表現の文型を作りレポート作成
4	講義	連続する動作を表す表現を使うことができる	連続する動作を表す表現の文型を作りレポート作成
5	講義	評価や感情を表す表現を使うことができる	評価や感情を表す表現の文型を作りレポート作成
6	講義	大切に不可欠であることを表現できる	大切に不可欠であることを表現の文型を作りレポート作成
7	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
8	講義	「かいがある」などの似かよった表現が理解できる	「かいがある」などの似かよった表現の文型を作りレポート作成
9	講義	強い感情、気持ちを書き言葉で表せる	強い感情、気持ちの表現の文型を作りレポート作成
10	講義	状況を否定的、消極的な気持ちで表すことができる	状況を否定的、消極的な表現の文型を作りレポート作成
11	講義	驚き、感嘆、疑問などの表現が理解できる	驚き、感嘆、疑問などの表現の文型を作りレポート作成
12	講義	一つの例を示して他にもあることを強調できる	一つの例を示して他にもあることの表現の文型を作りレポート作成
13	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
14	講義	復習試験	試験準備として、これまでのレポートを確認しまとめる。
15	講義	総復習と意見交換	1~11の苦手なところを確認し再度レポートにまとめる。
準備学習 時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】スピードマスターN1文法、新完全マスターN1語彙、その他必要に応じた資料			

科目名	著作権2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	峰松 毅
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ビクターではカラオケのレコーディングディレクターを、バンダイではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習 内容	想像することの大切さとを通し、著作権の意義を教えます。著作権を軽視したことにより生じたトラブルの実例を通し、契約社会の現実を学びます。またグループワークを通し、ネット社会で見落とされがちな会話の重要性を体感させます。						
到達目標	最終的には自分を誰にどのようにして伝えたいのかを考えさせます。※マネージャー、企画、作詞、作曲などいずれも自分は誰に何を伝えたいのかを考えさせ、社会の一員であることを考えさせます。						
評価方法と基準	筆記試験と面談。会話能力(自己表現)も評価の対象とします。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	自己紹介と講義概要の説明	第一回目の授業は講師の自己紹介と講義の概要を伝えます。最後に宿題を提示。⇒A4一枚にまとめた物語を配布。5人のキャラクターが登場。好感の持てる順に並べます。その根拠をグループワークで発表。自分の想像力と会話能力を実感させます。
2	講義	<b>グループワーク。「創造」とは何か！を議論します</b>	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。著作権の第一歩は想像することであり、いかに想像力を発揮していないかを体験させます。また人間関係をいかに改善できないかを体験させます。前回の課題として原盤権を講義。第二次創作の創作体験を想定。どのような物語(契約)が成立するかを議論。著作権をめぐっての様々な事例を講義。
3	講義	原盤権と著作権の概念を事例を通しコミュニケーションする体験教育	前回の課題をグループワークで検討。当たり前を見落としていること、契約の大切さを実感させます。現代の傾向として一般化される買い取り契約を講義。著作権と権利譲渡をめぐっての様々な事例を講義。
4	講義	プロデューサー、ディレクター、A&R、マネージャーの基本を学びます	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。著作権及び権利譲渡について講義。そのうえでプロデューサー、A&R、ディレクター等、言葉の大切さを教えます。著作権譲渡の重要性を講義。著作権譲渡の重要性を講義。著作権譲渡の重要性を講義。
5	講義	作家の印税収入の仕組みを学びます。JASRACと音楽出版社について等	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。jasracの必要性及び問題点を講義。海外版権について講義。ある設定を提示。海外の版権を阻止する概念の注意点を教えます。
6	講義	版権とその仕組みを学ぶ。〜ビートルズとサンダーバードの場合〜	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。キャラクタービジネスが目撃された60年代をもとに権利を守ること活かすことを講義。今回の課題として著作権の重要性を講義。著作権の重要性を講義。著作権の重要性を講義。
7	講義	もしもあなたがマネージャーだったら！謝罪権を考えます。<女優土屋アンナの裁判事件>	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。他人に物事を正確に伝えることの大切さを再度講義。太古の雨ごい儀式をどのようにとらえるかを議論。著作権の重要性を講義。
8	講義	雨ごいは合理的？著作権は別？論理性を考えます。	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。スポディファイと崩壊する？著作権ビジネスを考える。宿題として音楽業界の仕組みをイメージさせます。
9	講義	音楽出版社の調べ方とスポディファイを考える。自己PRを問う！	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。大きく変わる世界情勢とエンターテインメント業界を検討。今、アーティストに求められるものについて議論。著作権の重要性を講義。
10	講義	世界情勢の混乱！今、アーティストのメッセージとは何か〜問われる表現者の意識〜	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。jasracの問題点を宿題として提示。
11	講義	JASRAC信託契約の落とし穴、原盤印税とは何か	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。
12	試験	復習テスト	面談では講義へのリクエストなどを自由に述べてもらいます。
13	講義	前期のまとめ	前期のまとめ。面談結果及び今後の講義の概要を伝えます。
14	講義	「明日への扉」の台本より著作権を考える	「明日への扉」での運営・制作スタッフとして実践する。
15	講義	「明日への扉」の台本より著作権を考える	「明日への扉」での運営・制作スタッフとして実践する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】			
個人作成によるパワーポイントファイルとプロジェクターを使用。			

科目名	著作権3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	峰松 毅
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ビクターではカラオケのレコーディングディレクターを、バンダイではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習 内容	音楽業界で活躍していく為には、高度な著作権の知識が必要となる。本講義では音楽における権利の基礎とその現状を学び、実際の活動に役立てるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要な著作権の高度知識を習得し、説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	海外著作権の概要について学び理解し説明ができる	著作権の概要について学び理解しレポート作成
2	講義	海外でのアーティスト契約についての理解し説明ができる。	アーティスト契約についての理解しレポート作成
3	講義	英文の契約書の基本的な読み方を理解し説明ができる	契約書の基本的な読み方を理解しレポート作成
4	講義	海外の著作権法について理解し説明ができる。	著作権法について理解しレポート作成
5	講義	SNSにおける著作権を知り説明ができる。	SNSにおける著作権を知り理解しレポート作成
6	講義	著作物の条件を理解し説明ができる	著作物の条件を理解しレポート作成
7	講義	海外で音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解し説明ができる	音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解しレポート作成
8	講義	アーティストに支払われる印税について理解し説明ができる	アーティストに支払われる印税について理解しレポート作成
9	講義	国際的な管理会社を知り説明ができる	JASRACを知り理解しレポート作成
10	講義	音楽出版社の役割を理解し説明ができる	音楽出版社の役割理解しレポート作成
11	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
12	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
13	講義	再販制度の功罪を理解し説明ができる	再販制度の功罪を理解しレポート作成
14	講義	替え歌と著作者人格権の理解をし説明ができる。	替え歌と著作者人格権の理解しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りをおこない、レポートにまとめる
準備学習 時間外学習		業界で活躍するための権利を知る。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	著作権4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	峰松 毅
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ピクチャーではカラオケのレコーディングディレクターを、バンドではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習 内容	想像することの大切さを通し、著作権の意義を教えます。著作権を軽視したことにより生じたトラブルの実例を通し、契約社会の現実を学びます。またグループワークを通し、ネット社会で見落とされがちな会話の重要性を体感させます。						
到達目標	最終的には自分は何を誰にどのようにして伝えたいのかを考えさせます。※自分の職業を通して誰に何を伝えたいのかを考えさせ、社会の一員であることを考えさせます。上記を通して著作権の知識を習得することができる。						
評価方法及び基準	筆記試験と面談。会話能力(自己表現)も評価の対象とします。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	著作者人格権から買い取り契約の落とし穴を考える	前期の総括及び後期の講義概要を説明。著作者人格権について講義。ミュージシャンに著作権は発生するかを課題とし次回のグループワークとする。
2	講義	事例をもとにミュージシャンに演奏の権利は発生するのかを考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。著作権使用料の基本を講義し、定額制配信を考えさせます。
3	講義	音楽配信の現状から定額制のち問題を問う	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。表現とは何かを講義。欧米とアジア(韓国と日本の演歌)の違い。課題としてある物語からどのような歌詞とメロディーが合うのかを考えさせます。
4	講義	欧米と日本の表現方法の違いを考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。俳優(アクター)とは何かを講義。芸能の仕事と著作権について考えさせます。
5	講義	問われる芸能人の問題意識を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。イラスト、写真などの権利を講義。マネージャーと契約業務の例を提示。もしも自分がマネージャーだったらどうするかを宿題とします。
6	講義	マネージャーに問われる著作権意識	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ライブを行う場合、アーティスト(実演家)とイベントが確認しなければならない著作権とは何かを宿題とします。
7	講義	コンサートと著作権	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。洋楽をカバーする場合、日本語で歌う場合の注意点を宿題として考えさせます。
8	講義	歌謡曲とJポップの違いから著作権を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ウェブ上で注意すべき著作権を考える。ある動画配信を提示し著作権問題を含んでいるか否かを宿題として提示。
9	講義	YOUTUBEと著作権	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。動画配信の活かし方。表現することの難しさを問う。動画企画を宿題とします。
10	講義	表現者とは何か考えそこに発生する著作権を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ウェブビジネスを宿題として提示。
11	講義	web上の音楽ビジネスから著作権を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。
12	試験と面談	筆記テストと2階企画ルームで個人別面談	テスト及び後期講義の質疑応答。
13	講義	後期のまとめ	質疑応答の結果及びリクエスト講義
14	実習	卒業制作展での使用楽曲の著作権を確認す	卒業制作展での運営・制作スタッフとして実践する。
15	実習	卒業制作展DVD配布に伴う著作権を考える	卒業制作展での運営・制作スタッフとして実践する。
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】			
個人作成によるパワーポイントファイルとプロジェクターを使用。			



科目名	音楽史(邦楽)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西田 剛
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	2003年よりTSM渋谷校にて音楽史授業担当。JASRAC準会員。ギタリスト、作曲家として活動。実務歴37年。						
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、日本におけるポップ・ロックミュージックの起りから現代まで、その発達の歴史を深く学びます。その歴史や文化に触れ、広い視点で日本におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。						
到達目標	時代の流れに沿った、日本のロック・ポップスの発達を深く知ることで、自分たちの作り出す音楽と、日本のロック・ポップスの歴史・進化を結び付け評価することができる。また、進路となる日本のミュージックシーンすなわち業界の先輩となる方々の功績を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	授業の進め方(資料、音源、DVD、実演)の確認 日本のポップスの夜明けについて学ぶ。	美空ひばり、坂本九など昭和の象徴と呼べる大御所 グループサウンズと呼ばれたブームを探る。名曲アナライズに挑戦！上を向いて歩こう(ディグリー、機能など)
2	講義	フォークの時代を知る。	吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫などフォークの名曲を歌詞にスポットを当てて時代背景を探る 名曲アナライズ:いとしのエリー
3	講義	日本流の本格派ロック〜ニューミュージックについて学ぶ。	フラワートラベリングバンド、ユーミン、CHARなど、70年代のミュージックシーンを探る 名曲アナライズ: Tomorrow never knows
4	講義	歌謡曲とロック・ポップスの融合について学ぶ。	山口百恵、松田聖子、中森明菜など当時のアイドル文化 職業作詞家/作曲家の存在を探る 名曲アナライズ: 財津和夫 サボテンの花
5	講義	ジャパニーズ・ニューウェイヴについて学ぶ。	イエローマジックオーケストラ(YMO)を中心に日本独自のテクノポップ世界を探る
6	講義	ロックの大衆化とバンドブームについて考察する。	チェッカーズ、レベッカ、BOOWYなどと共に80年代シーンを探る メジャーデビューについて考察 バンドブーム
7	講義	ロックの大衆化とバンドブームについて考察する。	TMネットワーク、ブルーハーツ、X JAPANなどと共に80年代シーンを探る 80年代という時代を、オーディションやCMタイアップなどから考察する。
8	講義	90年代型ロックスターについて学ぶ。	L'Arc〜en〜Ciel、ドリカム、B'zなどと共に90年代シーンを探る 名曲アナライズ: TSUNAMI
9	講義	90年代型ロックスターについて学ぶ。	LUNA SEA、GLAYなどと共に90年代シーンを探る 名曲アナライズ: グロリアス
10	講義	オルタナティブ指向の定着とシーンの二極化について学ぶ。	PIZZICATO FIVE、Mr.Children、椎名林檎などのアーティスト考察 名曲アナライズ: 空も飛べるはず
11	講義	90年以降、多様化を謳歌する日本の音楽シーンを学ぶ。	多様化するシーンを、Globe、MISIA、宇多田ヒカル、MONGOL 800などのアーティストと共に探る。 インディーズ、アイドル文化、アニソンなど
12	テスト	筆記試験の実施	試験で不明確だった箇所を調べる。
13	実習	進級制作展の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
14	実習	We are TSM渋谷の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
15	講義	まとめ	全体のふりかえり & 未来を探る
準備学習 時間外学習		授業内容について復習しレポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	文章基礎3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	天井 潤 之介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修						
授業の学習 内容	「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考えや意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいのか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。						
到達目標	「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考えや意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。						
評価方法及び基準	課題の提出が前提、原稿の出来栄を評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	年間の授業方針と文章力の必要性について学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	例文の校正・添削を通じて、「修飾語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	起承転結を意識した文章を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
9	講義	起承転結を意識した文章を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
10	講義	起承転結を意識した文章を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
11	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
12	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
13	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
14	講義	授業の総振り返り	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
15	講義	テスト	
準備学習 時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り。	
【使用教科書・教材・参考書】			
自作プリント配布			

科目名	文章基礎4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	天井 潤 之介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修						
授業の学習 内容	「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考えや意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいのか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。						
到達目標	「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考えや意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。						
評価方法と基準	課題の提出が前提、原稿の出来栄を評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
9	講義	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
10	講義	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
11	講義	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
12	講義	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめることを学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
13	講義	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめることを学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
14	講義	授業の総振り返り	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
15	講義	テスト	
準備学習 時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り。	
【使用教科書・教材・参考書】			
自作プリント配布			

科目名	動画撮影&編集1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鈴木新吾
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	
教員の略歴	テイチクやコロンビアなどのアーティストのMVを監督。現在はニッスイや資生堂のweb、SNS動画広告の監督を務める。					
授業の学習 内容	カメラの種類、特性、撮影技法について学び基本的操作が出来るようになる 映像演出、コンテ作成が出来るようになる Adobe Premiere Proの基本操作が出来るようになる(映像編集) Adobe Photoshopの基本操作が出来るようになる(グラフィック) 学内で行われるイベントの撮影企画制作をし、撮影、編集、最終的にYouTubeなどにアップロードする					
到達目標	Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、 構成、台本作成、撮影機材、撮影方法、編集、オーディオ編集の基本操作知識、理解					
評価方法と基準	制作物評価:20% 達成度テスト(実技):80%・達成目標なるアプリケーションの基本操作のチェック					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	演習	カメラの種類、動画フォーマットの種類、撮影技法(アングル、サイズ) 動画の構成、演出について学ぶ	学生自身が持っているスマートフォンを使用して授業で学んだことを踏まえて自己紹介動画を作成し、次回提出(編集やテロップなどはいれず、失敗しても収録を止めてやり直さない)
2	演習	コンピューターに関する理解、Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、を理解する	授業で学んだ内容を復習する
3	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 動画編集を行ううえでのプロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得	次週の授業から編集が始めるように復習する
4	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 以前撮影した自己紹介動画の取り込み方法、編集を行ううえでの構成、注意事項、ショートカットキーの習得し編集を行う	復習しながら自己紹介動画の作成
5	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 動画編集の際に必要な特殊効果、タイトル、テロップ、グラフィックの挿入方法を学ぶ	作品を完成させて次回提出
6	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 オーディオの編集、エフェクトの追加、BGMの追加、カラーグレーディング、動画の書き出しにおける設定、アップロード方法の習得	作品提出、総評
7	演習	【Photoshop】 作成するうえでのプロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得、素材も元にショートカットキーの習得	次週の授業から編集が始めるように復習する
8	演習	【Photoshop】 動画素材も元に文字起こし等のテロップ作成方法の習得	作品を完成させて提出
9	演習	民生用カメラと業務用カメラの違い、標準的な撮影時のセッティング、照明、ホワイトバランスなどの撮影テクニック講座	授業で学んだ内容を復習する
10	演習	メイキング撮影、インタビューでの構成、演出、のテクニック講座、明日への扉メイキング映像撮影の企画、セクション決め	今まで学んだ内容を復習し、イベント撮影で実践出来るようにする
11	演習	今まで学んだ編集テクニックをおさらい。課題を与え時間内に完成させ、ショートカットキーやより実践的なテクニックを学ぶ	次週のテストに向けて復習と確認
12	演習	【Photoshop】 達成度テスト テスト解説	次週のテストに向けて復習と確認
13	演習	【Premiere Pro】 達成度テスト テスト解説	迷った部分を復習する
14	演習	授業の振り返り	前期内の授業のまとめ
15	演習	テスト	
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	動画撮影&編集2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鈴木新吾
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	
教員の略歴	テイチクやコロンビアなどのアーティストのMVを監督。現在はニッスイや資生堂のweb、SNS動画広告の監督を務める。					
授業の学習 内容	カメラの種類、特性、撮影技法について学び基本的操作が出来るようになる 映像演出、コンテ作成が出来るようになる Adobe Premiere Proの基本操作が出来るようになる(映像編集) Adobe Photoshopの基本操作が出来るようになる(グラフィック) 学内で行われるイベントの撮影企画制作をし、撮影、編集、最終的にYouTubeなどにアップロードする					
到達目標	Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、 構成、台本作成、撮影機材、撮影方法、編集、オーディオ編集の基本操作知識、理解					
評価方法と基準	演習の成果(準備含め):50% 課題の作成:50%					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	演習	明日への扉メイキング映像の編集、ナレーション入れ、パッケージデザイン	イベントで撮影したものをチームで作成
2	演習	明日への扉メイキング映像の編集、ナレーション入れ、パッケージデザイン	イベントで撮影したものをチームで制作、各チームつなぎ合わせ次回
3	演習	明日への扉メイキング映像の編集、完成、YouTubeなどにアップロード	完成、試写、総評、制作した作品に対するディスカッション
4	演習	撮影テクニック総復習①構成、演出 前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて構成、演出論を学ぶ	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
5	演習	撮影テクニック総復習②撮影 前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて撮影技術向上させる	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
6	演習	撮影テクニック総復習③編集 前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて編集技術向上させる	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
7	演習	SNS広告やweb広告の特徴と傾向、画コンテの読み方と作成方法について学ぶ	動画広告を視聴し情報収集
8	演習	We are TSM! イベント告知CM制作企画	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
9	演習	We are TSM! イベント告知CM制作、撮影、編集	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー、編集
10	演習	We are TSM! イベント告知CM制作、撮影、編集、完成	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー、編集、完成
11	演習	We are TSM! イベント告知CM制作、撮影、編集、完成(昨年度の素材も使用しYouTubeなどにアップロードする)	完成、試写、総評
12	演習	We are TSM! メイキング映像の企画、セクション決め	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
13	演習	We are TSM! メイキング映像制作、撮影、編集	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
14	演習	作品の振り返り	チームに分かれて他人の作品の評価
15	演習	テスト	
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	舞台機構調整士Ⅱ(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習 内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、PAシステム 組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	PAシステムを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて学ぶ。	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて復習レポートを作成。
2	講義	ワイヤレスマイク、指向性について学ぶ。	ワイヤレスマイク、指向性について復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、エンクロージャーについて学ぶ。	スピーカー、エンクロージャーについて復習レポートを作成。
4	講義	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて学ぶ。	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて復習レポートを作成。
5	講義	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて学ぶ。	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて復習レポートを作成。
6	講義	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて学ぶ。	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて復習レポートを作成。
7	講義	インプットモジュール、HAの性能について学ぶ。	インプットモジュール、HAの性能について復習レポートを作成。
8	講義	イコライザー、AUXについて学ぶ。	イコライザー、AUXについて復習レポートを作成。
9	講義	マスターセクションについて学ぶ。	マスターセクションについて復習レポートを作成。
10	講義	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQ について学ぶ。	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQ について復習レポートを作成。
11	講義	ダイナミクス系エフェクターについて学ぶ。	ダイナミクス系エフェクターについて復習レポートを作成。
12	講義	空間系エフェクターについて学ぶ。	空間系エフェクターについて復習レポートを作成。
13	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	講義	期末試験(筆記、実技)	後期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】			
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級			

科目名	音響学1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習 内容	前期は舞台機構調整士の授業と連動して舞台機構調整技能検定3級試験対策を授業として行い、試験の合格を目指す。問題集を利用した筆記試験対策と作業試験対策として反復練習を繰り返す。						
到達目標	7月に実施の3級舞台機構調整技能士(厚生労働省)の取得。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	授業の進め方、教科書の説明、3級舞台機構調整技能士について学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく。
2	講義	筆記試験解説 作業試験のケーブル巻き、マイクスタンド、PA卓等の仕込みを理解する。	ケーブル巻き、マイクスタンド、PA卓等の仕込みについて復習レポートを作成。
3	講義	筆記試験解説 作業試験のマイキング、PA卓の扱い方を理解する。	マイキング、PA卓の扱い方について復習レポートを作成。
4	講義	筆記試験解説 作業試験のボン出し、フェーダー操作を理解する。	ボン出し、フェーダー操作について復習レポートを作成。
5	講義	筆記試験解説 作業試験の台本読み、試験官とのやりとりについて学ぶ。	台本読み、試験官とのやりとりについて復習レポートを作成。
6	講義	筆記試験解説 作業試験の一連の流れを通して行う。	一連の流れ作業について復習レポートを作成。
7	講義	筆記試験解説 作業試験を制限時間内に出来るよう取り組む。	制限時間内に作業をするについて復習レポートを作成。
8	講義	筆記試験解説 作業試験について生徒別に問題点を修正する。	自分の問題点を補うための練習をする。
9	講義	筆記試験解説 作業試験練習(反復練習①)	自主練習をする。
10	講義	筆記試験解説 作業試験練習(反復練習②)	自主練習をする。
11	講義	筆記試験解説 作業試験練習(反復練習③1)	自主練習をする。
12	講義	試験を終えての反省点、問題点の考査	試験を終えての反省点をレポートにまとめておく。
13	講義	明日への雇のPAスタッフとして舞台音響の経験を積む(1)	稽古立会い、資料の作成。
14	講義	明日への雇のPAスタッフとして舞台音響の経験を積む(2)	資料の整理、終了報告まとめ。
15	講義	筆記試験解説 作業試験練習	先週の復習、本日の予習
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】			
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級			

科目名	音響学2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習 内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、PAシステム 組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	PAシステムを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて学ぶ。	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて復習レポートを作成。
2	講義	ワイヤレスマイク、指向性について学ぶ。	ワイヤレスマイク、指向性について復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、エンクロージャーについて学ぶ。	スピーカー、エンクロージャーについて復習レポートを作成。
4	講義	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて学ぶ。	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて復習レポートを作成。
5	講義	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて学ぶ。	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて復習レポートを作成。
6	講義	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて学ぶ。	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて復習レポートを作成。
7	講義	インプットモジュール、HAの性能について学ぶ。	インプットモジュール、HAの性能について復習レポートを作成。
8	講義	イコライザー、AUXについて学ぶ。	イコライザー、AUXについて復習レポートを作成。
9	講義	マスターセクションについて学ぶ。	マスターセクションについて復習レポートを作成。
10	講義	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQ について学ぶ。	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQについて復習レポートを作成。
11	講義	ダイナミクス系エフェクターについて学ぶ。	ダイナミクス系エフェクターについて復習レポートを作成。
12	講義	空間系エフェクターについて学ぶ。	空間系エフェクターについて復習レポートを作成。
13	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	期末試験(筆記、実技)	後期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】			
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級			



科目名	Pro tools Basic 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大村 嘉 伸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとして数々の音楽制作に携わる。実務歴24年。						
授業の学習 内容	業界録音標準のアプリProToolsの機能と使用方法をマスターする						
到達目標	録音実習過程と並行してProToolsの機能とオペレーション方法を理解し、留まる事なくオペレート出来る。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技)60% 2) 定期テスト(筆記)40% ProToolsセッションの作成からミックスまでの過程を適切なオペレーションで出来る。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	Macの適正使用、ファイル管理を出来るようにする	Macの適正使用、ファイル管理を出来るようにする 振り返りと自習
2	講義	ProToolsの起動、セッションの完結保存が出来るようにする	個人でセッションを作成、保存
3	講義	ウィンドウ構成、トランスポートを理解する	ウィンドウ構成、トランスポートを理解する 振り返りと自習
4	講義	各種モードを理解する	各種モードを理解する 振り返りと自習
5	講義	各種ツールを理解する	各種ツールを理解する 振り返りと自習
6	講義	トラックの構成、ミックス機能を理解する	トラックの構成、ミックス機能を理解する 振り返りと自習
7	講義	ミックスを実際に行い、機能を理解する	課題曲を使用して個人でミックス作業を行う
8	講義	録音用トラックセッティングをできるようにする	録音用トラックセッティングをできるようにする 振り返りと自習
9	講義	セッションに音を取り込めるようにする	セッションに音を取り込めるようにする 振り返りと自習
10	講義	MIDI機能の初段階を理解する	MIDI機能の初段階を理解する 振り返りと自習
11	講義	簡単な録音、編集をできるようにする	個人で録音セッションのセッティングを行う
12	講義	Voトラックのコンピング機能を理解する	Voトラックのコンピング機能を理解する 振り返りと自習
13	講義	Voトラックのコンピング編集実技	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
14	講義	ミュージカルのライブレコーディングのセッション作成について	ミュージカルのライブレコーディングセッションの作成について 振り返りと自習
15	講義	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について 振り返りと自習
準備学習 時間外学習		授業内容をより理解するための復習と各種作業の自習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】			
専用プリント			

科目名	Pro tools Basic 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大村 嘉 伸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとして数々の音楽制作に携わる。実務歴24年。						
授業の学習 内容	業界録音標準のアプリProToolsの機能と使用方法をマスターする						
到達目標	録音実習過程と並行してProToolsの機能とオペレーション方法を理解し、留まる事なくオペレート出来る。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技) 60% 2) 定期テスト(筆記) 40% ProToolsセッションの作成からミックスまでの過程を適切なオペレーションで出来る。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	ミックス作業時のトラックセッティングを理解する	ミックス作業時のトラックセッティングを理解する 振り返りと自習
2	講義	ミックス作業時のプラグインを理解する	ミックス作業時のプラグインを理解する 振り返りと自習
3	講義	ミックスを実際に行い、仕上げるスキルをアップする	個人で0からミックス作業を行う
4	講義	セッションインポートでの効率的な作業を理解する	セッションインポートでの効率的な作業を理解する 振り返りと自習
5	講義	新規セッションからダビングまでのセッティングを理解する	新規セッションからダビングまでのセッティングを理解する 振り返りと自習
6	講義	新規セッションからマルチダビングまでのセッティングを理解する	新規セッションからマルチダビングまでのセッティングを理解する 振り返りと自習
7	講義	テンポの検出とトラックセッティングを理解する	テンポの検出とトラックセッティングを理解する 振り返りと自習
8	講義	新規セッションからテンポ検出、ダビングまでのセッティングを出来るようにする	新規セッションからテンポ検出、ダビングまでのセッティングを出来るようにする 振り返りと自習
9	講義	2Mixの編集とデータ書き出しを理解する	2Mixの編集とデータ書き出しを理解する 振り返りと自習
10	講義	マルチトラックの編集と書き出しを出来るようにする	マルチトラックの編集と書き出しを出来るようにする 振り返りと自習
11	講義	マルチトラックでの補正編集を出来るようにする	マルチトラックでの補正編集を出来るようにする 振り返りと自習
12	講義	Midiトラックの編集を理解する	Midiトラックの編集を理解する 振り返りと自習
13	試験	新規セッションからダビングまでのセッティング実技	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
14	講義	卒業制作のライブレコーディングに向けたシステム構築及びProToolsセッション作成について	卒業制作のライブレコーディングに向けたシステム構築及びProToolsセッション作成について 振り返りと自習
15	講義	卒業制作のライブレコーディングセッションの編集と管理について	卒業制作のライブレコーディングセッションの編集と管理について振り返りと自習
準備学習 時間外学習		授業内容をより理解するための復習と各種作業の自習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】			
専用プリント			

科目名	Vecer Works Advance1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習 内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの各様なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	基本操作復習・確認	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2	講義	図面を作成①：ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。
3	講義	図面を作成②：ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。
4	講義	図面を作成③：ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
5	講義	図面を作成④：学園祭セット図作成	学園祭図面作成の復習レポートを作成。
6	講義	図面を作成⑤：学園祭まとめ	学園祭資料を整理
7	講義	図面を作成⑥：ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
8	講義	図面を作成⑦：ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
9	講義	図面を作成⑧：舞台セット図基本	舞台セット図作成の復習レポートを作成。
10	講義	図面を作成⑨：舞台セット図応用	舞台セット図作成の復習レポートを作成。
11	講義	図面を作成⑩：舞台平面図作成	舞台平面図作成の復習レポートを作成。
12	講義	図面を作成⑪：舞台断面図制作	舞台平面図作成の復習レポートを作成。
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
15	講義	前期まとめ 復習	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面			

科目名	Vector Works Advance2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏 幸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習 内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの様々なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	前期内容を確認	基本的なベクターワークスの復習レポートを作成。
2	講義	シンボル登録の理解	シンボル登録について復習レポートを作成。
3	講義	シンボル登録の展開操作	シンボル登録について復習レポートを作成。
4	講義	立体図形を創る	立体図形について復習レポートを作成。
5	講義	立面図を作る①	立面図について復習レポートを作成。
6	講義	立面図を作る②	立面図について復習レポートを作成。
7	講義	外部リハーサル会場の図面作成①	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。
8	講義	外部リハーサル会場の図面作成②	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。
9	講義	We AreTSM演目別図面展開①	舞台セット図の復習レポートを作成。
10	講義	We AreTSM演目別図面展開②	舞台セット図の復習レポートを作成。
11	講義	We AreTSM演目別図面展開③	舞台セット図の復習レポートを作成。
12	講義	We AreTSM演目別図面展開④	舞台セット図の復習レポートを作成。
13	講義	卒業進級制作展の舞台進行チームとして参加。コンサートイベント舞台の図面を作成する。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理
14	講義	卒業進級制作展の舞台進行チームとして参加。コンサートイベント舞台の図面を作成する。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理
15	講義	年度末課題試験 復習	後期まとめの復習レポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】			
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面			

科目名	舞台史1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習 内容	紀元前からの舞台の歴史や、劇場、舞台美術について学びます。舞台スタッフとして最低限必要な教養を身につけ、また舞台美術の知識を通してイマジネーションを広げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ること、これからの新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	レポート課題 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台の歴史について概要説明し、流れを理解する。	
2	講義	古代ギリシア演劇～中世～	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3	講義	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	
4	講義	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
5	講義	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	
6	講義	紀元前からの劇場について学ぶ	紀元前からの劇場について調べ、レポートにまとめる
7	講義	ローマ時代の劇場について学ぶ	ローマ時代の劇場について調べ、レポートにまとめる
8	講義	フランス演劇、スペイン演劇、ロシア演劇について学ぶ	フランス演劇、スペイン演劇、ロシア演劇について調べ、レポートにまとめる
9	講義	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピンターについて学ぶ	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピンターについて調べ、レポートにまとめる
10	講義	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語について学ぶ	能、狂言、歌舞伎、落語について調べ、レポートにまとめる
11	講義	日本舞台史～近世①～ (新派・新劇の登場)について学ぶ	新派・新劇について調べ、レポートにまとめる
12	講義	日本舞台史～近世②～ (宝塚歌劇団、松竹少女歌劇団)について学ぶ	宝塚歌劇団、松竹少女歌劇団について調べ、レポートにまとめる
13	講義	日本舞台史～現代～ (小劇場演劇、アングラ演劇)について学ぶ	小劇場演劇、アングラ演劇について調べ、レポートにまとめる
14	講義	劇団四季、2.5次元ミュージカルなど最近の舞台公演について学ぶ	劇団四季、2.5次元ミュージカルについて調べ、レポートにまとめる
15	講義	復習試験	総まとめをレポートにまとめる
準備学習 時間外学習		授業内容の復習をレポートにまとめる。	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	舞台史2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習 内容	舞台のルーツを考え、現在の舞台を知る。						
到達目標	舞台の歴史を知ること、これからの新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	レポート課題 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	古代エフェリスの舞台から歴史を学ぶ	古代エフェリスについて調べる
2	講義	現代とエフェリスとの共通点を学ぶ	ヨーロッパ舞台の歴史を調べる、グループワークで研究しレポートにまとめる。
3	講義	ヨーロッパからの舞台の躍進を学ぶ	ローマ時代の舞台について研究する
4	講義	ローマ時代のからの舞台のルーツを学ぶ	世界のイベントの数を調べる
5	講義	現在と過去のイベントの変遷を学ぶ	舞台とは何か、事前に研究する。
6	講義	生と死、舞台との関わりを学ぶ	前半講義のまとめレポートにまとめレポート課題として提出する。
7	講義	前半講義確認テスト 筆記	前半確認テスト 筆記
8	講義	日本の舞台の歴史を学ぶ	日本芸術について研究する。
9	講義	歌舞伎のルーツを学ぶ	ミュージカルについて研究する
10	講義	歴史からミュージカルを学ぶ	舞台と歴史の変遷について考察する
11	講義	舞台の歴史から変遷の流れを学ぶ	舞台美術と歴史について研究する
12	講義	ミュージカル「キャッツ」を学ぶ	美術と舞台についての関係を考察①
13	講義	デザイン画と舞台の可能性①	美術と舞台についての関係を考察①
14	講義	デザイン画と舞台の可能性②	舞台史の授業の振り返りを行う
15	講義	後期復習テスト 筆記	後期テスト 筆記
準備学習 時間外学習		授業内容の復習をレポートにまとめる。	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	舞台スタッフ基礎講座1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北 英 樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習 内容	舞台美術、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の舞台制作及び舞台監督を目指す学生にとって有益となる他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技。						
到達目標	将来的に仕事での即戦力となるべく、舞台美術、舞台制作、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の基本的知識を知り、作業内容を習得する。						
評価方法及び基準	1.実技試験（50%） 2.筆記試験（50%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台美術（基礎舞台の設営）に関して	舞台美術とは何かを調べる。
2	講義	PAの基礎知識に関して	PAとは何かを調べる。
3	講義	舞台制作の応用知識に関して	1年時の舞台制作授業の復習。
4	講義	PAの機材に関して	PAの機材について調べる。
5	講義	PAのシステムに関して	PAのシステムとは何かを調べる。
6	講義	照明の基礎知識に関して	照明とは何かを調べる。
7	講義	照明の機材に関して	照明の機材について調べる。
8	講義	照明のシステムに関して	照明のシステムとは何かを調べる。
9	講義	ミュージカルの舞台演出について①	資料をまとめて整理する。
10	講義	ミュージカルの舞台演出について②	資料をまとめて整理する。
11	講義	特殊効果に関して	特殊効果とは何かを調べる。
12	講義	楽器と楽器のセッティングに関して	楽器とは何かを調べる。
13	講義	舞台での足場に関して	舞台での足場とは何かを調べる。
14	試験	前期復習テスト（筆記及び実技）	前期の全ての授業内容の復習
15	講義	舞台メイクに関して	舞台メイクについて復習レポート作成。
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】			
学内に有る全ての機材の使用			

科目名	舞台スタッフ基礎講座2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北 英 樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習 内容	舞台美術、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の舞台制作及び舞台監督を目指す学生にとって有益となる他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技。						
到達目標	将来的に仕事での即戦力となるべく、舞台美術、舞台制作、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の基本的知識を知り、作業内容を習得する。						
評価方法及び基準	1.実技試験（50%） 2.筆記試験（50%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台スタッフの打合せスキルを学ぶ。	資料をまとめて整理する。
2	講義	舞台、照明、PAの各図面について学ぶ。	課題の図面を作成して提出する。
3	講義	舞台の様々なスタッフ（トランスポート、プロンプター等）について知る。	授業内容についての復習レポートを作成する。
4	講義	舞台の様々なスタッフ（レーザー、電飾等）について知る。	授業内容についての復習レポートを作成する。
5	講義	PAステージスタッフの仕事学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
6	講義	PAハウスエンジニアの仕事学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
7	講義	PA機材の名前を覚える。	授業内容についての復習レポートを作成する。
8	講義	照明の仕込み方法を学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
9	講義	照明の一般調光オペレートを学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
10	講義	照明のムービングについて学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
11	講義	照明のムービングオペレートを学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
12	講義	安全管理について学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
13	講義	足場の組み方を学ぶ。	舞台での足場とは何か調べる。
14	試験	前期復習テスト（筆記及び実技）	前期の全ての授業内容の復習
15	講義	舞台スタッフの関連図を作成する。	
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】			



科目名	舞台制作プランニング1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏 幸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し演目内容を進行していく能力を身につける</li> <li>●資料作成などを元に、学内イベントを経験して実習を行っていく</li> </ul>						
到達目標	●知識を元に作業を繰り返すことで、自分自身の舞台制作の知識、スキルを習得し、判断能力を上げる。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2	講義	舞台知識①：舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3	講義	舞台知識②：公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4	講義	舞台知識③：図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5	講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6	講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7	講義	舞台知識④：各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8	講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9	講義	知識応用①：墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10	講義	知識応用②：タッパ決めについて学ぶ。	タッパ決めについて復習レポートを作成。
11	講義	知識応用③：リハーサル進行について	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12	講義	知識応用④：公演進行の方法について	公演進行の方法について復習レポートを作成。
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	講義	復習試験	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】			
スタッフ赤本			

科目名	舞台制作プランニング2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習 内容	公演内容を把握し、必要な資料作成を行う。Excel・PowerPointを使って資料作成を行う						
到達目標	公演開催において、計画的に進行するための資料を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	後期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	前期授業内容を復習しておく。
2	講義	台本を作成する①：マスター作成ができるようになる。	マスター作成について復習レポートを作成。
3	講義	台本を作成する②：進行内容が書けるようになる。	進行内容を書くことについて復習レポートを作成。
4	講義	台本を作成する③：ト書きについて理解する。	ト書きの理解について復習レポートを作成。
5	講義	オリジナル台本を創ってみる。	オリジナル台本作成の復習レポートを作成。
6	講義	台本を基本に資料を作成する。	台本について復習レポートを作成。
7	講義	台本を印刷製本する。	印刷した台本を読む。
8	講義	We AreTSMの演出内容について考察し、資料を作成する。	We are TSM渋谷の打合せを行う。
9	講義	We AreTSMの舞台監督業務内容を理解する。	We are TSM渋谷の資料を作成する。
10	講義	We AreTSMの舞台監督業務におけるタイムテーブルや図面の作成を行う。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
11	講義	We AreTSMの演出内容についてあらかじめ考察し、現状の資料をまとめる。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
12	講義	We AreTSMの演出内容について照明、PA、映像セクションとの調整を行う。	卒業進級制作展についての資料をまとめる。
13	講義	卒業進級制作展舞台制作を学ぶ	打合せ、資料の作成①
14	講義	卒業進級制作展舞台制作を学ぶ	打合せ、資料の作成②
15	講義	復習試験	後期まとめの復習レポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート作成とWe are TSM渋谷の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】			
スタッフ赤本			

科目名	コンサート演出研究1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務。実務歴26年。						
授業の学習 内容	海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。 1)最先端のコンサート演出、情報を知る。 2)最先端の情報の収集が出来るようになる。 3)海外コンサートの実態を知る。						
到達目標	最先端のコンサートを知ることで、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	1. 実技試験 (%) : 50% 2. 課題提出 (%) : 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	最先端コンサートに興味を持つ	最先端のコンサートについて復習レポートを作成。
2	講義	4/19-21のコーチェラフェスティバルを振り返る	コーチェラフェスティバルについて調べてレポートを作成。
3	講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう1992-2001、2019	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
4	講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2002-2010、2018	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
5	講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2011-2017	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
6	講義	コンサートとは何か?なぜ行うのか?を考える	授業内容について復習レポートを作成。
7	講義	みんなのオススメコンサート演出の共有 (1)	お勧めコンサートの資料を準備する。
8	講義	U2を中心に近代の演出考察	U2というバンドについて調べてレポートを作成。
9	講義	BrunoMars/2017-2018 TOURを中心に近代の演出考察	BrunoMarというバンドについて調べてレポートを作成。
10	講義	みんなのオススメコンサート演出の共有 (2)	お勧めコンサートの資料を準備する。
11	講義	海外フェス演出	海外フェスについて調べてレポートを作成。
12	講義	明日への扉のスタッフとして演出を学ぶ①	明日への扉の演出についてレポートを作成。
13	講義	明日への扉のスタッフとして演出を学ぶ②	明日への扉の演出についてレポートを作成。
14	講義	日本のフェス演出/2018	日本のフェスについて調べてレポートを作成。
15	講義	2019日本の夏フェスを振り返る。試験。	2019日本の夏フェスについてレポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	コンサート演出研究2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務。実務歴26年。						
授業の学習 内容	海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。 1)最先端のコンサート演出、情報を知る。 2)最先端の情報の収集が出来るようになる。 3)海外コンサートの実態を知る。						
到達目標	最先端のコンサートを知ることで、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	1. 実技試験 (%) : 50% 2. 課題提出 (%) : 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	現在のアメリカコンサート事情	現在のアメリカコンサート事情について復習レポートを作成。
2	講義	Drake/2018、the carters/2018、Travis Scott/2019などHIP-HOP	HIP-HOPについて調べてレポートを作成。
3	講義	THIS IS ITでMichel Jacksonを知る	Michel Jacksonについて調べてレポートを作成。
4	講義	INTER BEE見学(開催日によって前後あり)	INTER BEEを調べてレポートを作成。
5	講義	MADONNA、JanetなどのGIRL'S POPクラシック	MADONNA、Janet
6	講義	Areana、Katy、Taylor、GagaなどのGIRL'S POP最先端	Areana、Katy、Taylor、Gaga
7	講義	IDOL(日本除く)コンサート	IDOL(日本除く)コンサート
8	講義	コンサート機材最新情報(Lighting & Sound Americaを使用)	コンサート機材最新情報
9	講義	オリンピック開会式演出(ロンドン2012、ソチ2014)	オリンピック開会式演出(ロンドン2012、ソチ2014)
10	講義	オリンピック開会式演出(リオ2016、平昌2018)、リオ東京プレゼンテーション	オリンピック開会式演出(リオ2016、平昌2018)、リオ東京プレゼンテーション
11	講義	最新コンサート情報についての考察(1)	授業内容の復習レポートを作成。
12	講義	最新コンサート情報についての考察(2)	授業内容の復習レポートを作成。
13	講義	We are TSM渋谷の演出を学ぶ①	We are TSM渋谷の演出についてレポートを作成。
14	講義	We are TSM渋谷の演出を学ぶ②	We are TSM渋谷の演出についてレポートを作成。
15	試験	Superbowl 2020振り返り。復習試験。	Superbowl 2020についてレポートを作成。
準備学習 時間外学習		授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	PA基礎知識1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松本 義正
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習 内容	簡易PAセットの仕込みと音出しを一人でこなせるようになるう						
到達目標	簡易PAセットの仕込みを理解し、一人でセットが組めるようになる						
評価方法と基準	筆記テスト30% 実技テスト70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	顔合わせ自己紹介、全員の名前を見えよう、ケーブル巻	マイクの種類を研究する
2	講義	マイクの説明、スタンド立て、ケーブル介錯	スタンドの種類の研究をする
3	講義	Mic,Mixer,Amp,Speakerの回路を学ぶ①	Ampについて研究する
4	講義	Mic,Mixer,Amp,Speakerの回路を学ぶ②	Speakerについて研究する
5	講義	EQ/CDについて学ぶ①	EQについて研究する①
6	講義	GEQ/CDについて学ぶ②	EQについて研究する②
7	講義	前半講義のテスト	前半講義テストの準備
8	講義	AUX,FBについて学ぶ①	FBの概念を研究する
9	講義	AUX,FBについて学ぶ②	AUXの概念を研究する①
10	講義	AUX,FBについて学ぶ③	AUXの概念を研究する②
11	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ①	FXの概念を研究する①
12	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ②	FXの概念を研究する①
13	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ③	後半講義の振り返りをレポート課題にて提出
14	講義	後半講義の確認小テスト	簡易セットの回路図を研究
15	試験	後半講義 復習テスト	後半講義 テスト
準備学習 時間外学習		各自簡易セットに触れ、仕込み、バラシを自発的に行うことによって学習を深めることを期待する	
【使用教科書・教材・参考書】			
PA基礎知識			

科目名	PA基礎知識1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松本 義正
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習 内容	簡易PAセットの仕込みと音出しを一人でこなせるようになる						
到達目標	簡易PAセットの仕込みを理解し、一人でセットが組めるようになる						
評価方法と基準	筆記テスト30% 実技テスト70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	デジタルコンソールの概念を学ぶ①	デジタルコンソールの概念を研究
2	講義	デジタルコンソールの概念を学ぶ②	デジタルコンソールの概念を研究
3	講義	デジタルコンソールの概念を学ぶ③	デジタルコンソールの概念を研究
4	講義	アウトホードのついて学ぶ① 空間系FX、ダイナミクス系	エフェクトに関する研究
5	講義	システムチューニング② FOH/FB	FOHについて研究
6	講義	システムチューニング② FOH/FB	周波数についての研究
7	講義	前半講義 テスト	前半講義テストの準備
8	講義	AUX,FBについて学ぶ④	FBの概念を研究する
9	講義	AUX,FBについて学ぶ⑤	AUXの概念を研究する①
10	講義	AUX,FBについて学ぶ⑥	AUXの概念を研究する②
11	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ⑦	FXの概念を研究する①
12	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ⑧	FXの概念を研究する①
13	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ⑨	後半講義の振り返りをレポート課題 にて提出
14	講義	後半講義の確認小テスト	デジタルコンソールを使用した簡易 セットの回路図を研究
15	試験	後半講義 復習テスト	後半講義 テスト
準備学習 時間外学習		各自簡易セットに触れ、仕込み、バラシを自発的に行うことによって学習を深める ことを期待する	
【使用教科書・教材・参考書】			
PA基礎知識			

科目名	Creator'sRecording概論	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西片悠人
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	レコーディングエンジニア歴8年(代表作品:GLAY「LOVE IS BEAUTIFUL」,かりゆし58「でーじ、かりゆし」)						
授業の学習 内容	音楽クリエイターを目指す上で、レコーディング技術の必要性と需要が高まってきている昨今、クリエイターにとって必要なデジタルレコーディングの基本概念と、レコーディング技術及びミキシング・マスタリング技術の基礎知識と技術の習得を目指す。						
到達目標	①デジタルレコーディングの基本概念の理解 ②ヴォーカル及び各種アコースティック楽器のレコーディング技術の習得 ③業界標準DAW「ProTools」の基本概念と機能の理解						
評価方法と基準	1)定期テスト(筆記60% 実技40%)						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	デジタルレコーディング基本概念の理解① (アナログ,デジタルの違いとレコーディング技術の変遷について)	デジタルレコーディング基本概念の理解① (アナログ,デジタルの違いとレコーディング技術の変遷について)
2	講義	デジタルレコーディング基本概念の理解② (サンプリングレート、ビットレートについての理解)	デジタルレコーディング基本概念の理解② (サンプリングレート、ビットレートについての理解)
3	講義	デジタルレコーディング応用編① (AD/DA,レイテンシーとは?その対策について)	デジタルレコーディング応用編① (AD/DA,レイテンシーとは?その対策について)
4	講義	デジタルレコーディング応用編② (ワードクロックについて、活用法や注意点について)	デジタルレコーディング応用編② (ワードクロックについて、活用法や注意点について)
5	講義	マイクの種類および特性について	マイクの種類および特性について
6	講義	アナログコンソール (SSL4000G) を利用したオーディオレコーディングについての理解	アナログコンソール (SSL4000G) を利用したオーディオレコーディングについての理解
7	講義	アナログコンソール (SSL4000G) を利用したオーディオレコーディングを理解し、レコーディング及びモニタリングのセットアップについて	アナログコンソール (SSL4000G) を利用したオーディオレコーディングを理解し、レコーディング及びモニタリングのセットアップについて
8	講義	ヴォーカルレコーディングのセッティングとルーティングについて	ヴォーカルレコーディングのセッティングとルーティングについて
9	講義	アコースティック楽器のセッティングとルーティングについて	アコースティック楽器のセッティングとルーティングについて
10	講義	DAW「ProTools」基礎① セッションの作り方、各種機能の理解	DAW「ProTools」基礎① セッションの作り方、各種機能の理解
11	講義	DAW「ProTools」基礎② 編集ウィンドウの理解、4つの基本モードの理解	DAW「ProTools」基礎② 編集ウィンドウの理解、4つの基本モードの理解
12	講義	DAW「ProTools」基礎③ ミックスウィンドウの理解、オーディオレコーディングについて	DAW「ProTools」基礎③ ミックスウィンドウの理解、オーディオレコーディングについて
13	講義	SSLコンソールを使った実技テスト	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
14	講義	ミュージカルのライブレコーディングのシステム構築及びProToolsセッション作成について	ミュージカルのライブレコーディングのセッション作成について 振り返りと自習
15	講義	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について 振り返りと自習
準備学習 時間外学習		授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	韓国語講座 3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	崔 可暎
学科・コース	音楽テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ハンゲルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験(TOPIK)の獲得を目標にします						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ハンゲルの理解を深める。	ハンゲルの復習を行う。
2		講義	ハンゲルの読みをマスターする。	ハンゲルの読みの復習を行う。
3		講義	ハンゲルの読みの確認。	ハンゲルの読みの復習を行う。
4		講義	パッチムの理解し使える。	パッチムの理解の復習を行う。
5		講義	リスニング練習・テストと復習	リスニング練習・テストと復習
6		講義	挨拶の会話文作って話せる。	挨拶の会話文作っての復習を行う。
7		講義	「あります」「ありません」を使った表現を使う。	「あります」「ありません」を使った表現の復習を行う。
8		講義	形容詞の応用を理解する。	形容詞の応用の復習を行う。
9		講義	敬語を理解する。	敬語を理解の復習を行う。
10		講義	過去形文を理解する。	過去形文を理解の復習を行う。
11		講義	未来形文を理解する。	未来形文を理解の復習を行う。
12		講義	可能系文を理解する。	可能系文を理解の復習を行う。
13		講義	作文を理解する。	作文を理解の復習を行う。
14		講義	「あります」「ありません」を使った表現を使う。	「あります」「ありません」を使った表現の復習を行う。
15		講義	前期実施項目の復習	前期実施項目の復習を行う。
準備学習 時間外学習			様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
韓国語初歩の初歩 CD付／韓国語「文法」トレーニング				



科目名	韓国語講座 4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	崔 可暎
学科・コース	音楽テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ハンゲルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験(TOPIK)の獲得を目標にします						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	空港での表現を理解する。	空港での表現の復習を行う。
2		講義	郵便局での表現を理解する。	郵便局での表現の復習を行う。
3		講義	旅行先での表現を理解する。	旅行先での表現の復習を行う。
4		講義	映画館・デートでの表現を理解する。	映画館・デートでの表現の復習を行う。
5		講義	病院に行った時の表現を理解する。	病院に行った時の表現の復習を行う。
6		講義	美容室に行った時の表現を理解する。	美容室に行った時の表現の復習を行う。
7		講義	手紙の表現を理解する。	手紙の表現の復習を行う。
8		講義	褒め言葉・指摘言葉を理解する。	褒め言葉・指摘言葉の復習を行う。
9		講義	リスニングのテストと復習	リスニングのテストの復習を行う。
10		講義	面接の表現を理解する。	面接の表現の復習を行う。
11		講義	フリートーク(自分の国について)を理解する。	フリートーク(自分の国について)の復習を行う。
12		講義	フリートーク(趣味について)を理解する。	フリートーク(趣味について)の復習を行う。
13		講義	褒め言葉・指摘言葉を理解する。	褒め言葉・指摘言葉の復習を行う。
14		講義	病院に行った時の表現を理解する。	病院に行った時の表現の復習を行う。
15		講義	後期実施項目の復習	後期実施項目の復習
準備学習 時間外学習			様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
韓国語初歩の初歩 CD付／韓国語「文法」トレーニング				

科目名	日本語講座 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池村 雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	滋慶グループで日本語検定対策N1、N2、ビジネス日本語担当						
授業の学習 内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。テーマに沿ってグループディスカッション実施、グループの意見をまとめ発表する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現が適切に使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にでき、スムーズなコミュニケーションがとれる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶、自己紹介を日本語でできる。	挨拶の復習と年間勉強計画表を作成
2	講義	大きさや量を強調する表現が理解できる	大きさや量を強調する表現の文型を作りレポート作成
3	講義	「ごとく」を使った表現を使い分けができる	「ごとく」を使った表現の文型を作りレポート作成
4	講義	連続する動作を表す表現を使うことができる	連続する動作を表す表現の文型を作りレポート作成
5	講義	評価や感情を表す表現を使うことができる	評価や感情を表す表現の文型を作りレポート作成
6	講義	大切で不可欠であることを表現できる	大切で不可欠であることを表現の文型を作りレポート作成
7	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
8	講義	「かいはある」などの似かよった表現が理解できる	「かいはある」などの似かよった表現の文型を作りレポート作成
9	講義	強い感情、気持ちを書き言葉で表せる	強い感情、気持ちの表現の文型を作りレポート作成
10	講義	状況を否定的、消極的な気持ちで表すことができる	状況を否定的、消極的な表現の文型を作りレポート作成
11	講義	驚き、感嘆、疑問などの表現が理解できる	驚き、感嘆、疑問などの表現の文型を作りレポート作成
12	講義	一つの例を示して他にもあることを強調できる	一つの例を示して他にもあることの表現の文型を作りレポート作成
13	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
14	講義	試験実施と復習	試験実施と復習
15	講義	総復習を通して、後期で強化する点を知る	これまでの復習し理解し正しく作文を作成する。
準備学習 時間外学習		様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスターN1文法、新完全マスターN1語彙、その他必要に応じた資料			

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	日本語講座 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池村 雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	滋慶グループで日本語検定対策N1、N2、ビジネス日本語担当						
授業の学習 内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。テーマに沿ってグループディスカッション実施、グループの意見をまとめ発表する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現が適切に使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にでき、スムーズなコミュニケーションがとれる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶、自己紹介を日本語でできる。	挨拶の復習と年間勉強計画表を作成
2	講義	大きさや量を強調する表現が理解できる	大きさや量を強調する表現の文型を作りレポート作成
3	講義	「ごとく」を使った表現を使い分けができる	「ごとく」を使った表現の文型を作りレポート作成
4	講義	連続する動作を表す表現を使うことができる	連続する動作を表す表現の文型を作りレポート作成
5	講義	評価や感情を表す表現を使うことができる	評価や感情を表す表現の文型を作りレポート作成
6	講義	大切で不可欠であることを表現できる	大切で不可欠であることを表現の文型を作りレポート作成
7	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
8	講義	「かいはある」などの似かよった表現が理解できる	「かいはある」などの似かよった表現の文型を作りレポート作成
9	講義	強い感情、気持ちを書き言葉で表せる	強い感情、気持ちの表現の文型を作りレポート作成
10	講義	状況を否定的、消極的な気持ちで表すことができる	状況を否定的、消極的な表現の文型を作りレポート作成
11	講義	驚き、感嘆、疑問などの表現が理解できる	驚き、感嘆、疑問などの表現の文型を作りレポート作成
12	講義	一つの例を示して他にもあることを強調できる	一つの例を示して他にもあることの表現の文型を作りレポート作成
13	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
14	講義	試験実施と復習	試験実施と復習
15	講義	総復習を通して、後期で強化する点を知る	これまでの復習し理解し正しく作文を作成する。
準備学習 時間外学習		様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】			